

業 績 集

2024年度あゆみ業績

消化器

—論文—

1. Miyazawa A, Nambu R, Shimizu H, Kudo T, Nishizawa T, Kumagai H, Hagiwara SI, Kaji E, Mizuochi T, Kurasawa S, Kakuta F, Ishige T, Shimizu T, Iwama I, Arai K. Long-Term Course and Prognostic Factors in Pediatric Ulcerative Proctitis: A Multicenter Cohort Study. *Inflamm Bowel Dis*. 2024 Nov 19; *izea266*. doi: 10.1093/ibd/izea266. Online ahead of print.
2. Suzuki M, Takei H, Suzuki H, Mori J, Sugimoto S, Mizuochi T, Ohtake A, Hayashi H, Kimura A, Nittono H. Efficacy and safety of switching therapy from chenodeoxycholic acid to cholic acid in Japanese patients with bile acid synthesis disorders. *Mol Genet Metab Rep* 41 (2024) 101166
3. Nanri D, Yuge K, Goto K, Kimura T, Yae Y, Mizuochi T, Sato R, Itonaga T, Maeda T, Yamashita Y. Onasemnogene Apeparvovec Treatment after Nusinersen in an Infant with Spinal Muscular Atrophy Type 1. *Kurume Med J*. 2024 May 14;69(3.4):255-259.
4. Nakano S, Suzuki M, Hatori R, Mizuochi T, Etani Y, Tajiri H. Natural history and clinical features of hepatitis C virus infection during childhood: A nationwide, observational survey in Japan. *Hepatol Res*. 2024 Mar 9. doi: 10.1111/hepr.14032. Online ahead of print.
5. Nambu R, Kudo T, Tachibana N, Shimizu H, Mizuochi T, Kato S, Inoue M, Kumagai H, Ishige T, Kunisaki R, Noguchi A, Yodoshi T, Hagiwara SI, Nishimata S, Kakuta F, Saito T, Iwama I, Hirano Y, Shimizu T, Arai K; JPIBD-R network. Prognosis of pediatric ulcerative colitis after infliximab failure: A multicenter registry-based cohort study. *J Gastroenterol Hepatol*. 2024 Feb;39(2):312-318.

—著書・総説—

1. 津村直弥, 水落建輝. 【小児臨床検査2024】血液生化学検査 脂質および関連物質 ビリルビン, 血清総胆汁酸, 尿中胆汁酸分画. *小児内科* 2024 ; 56 : 208-210.
2. 加藤 健, 水落建輝. 【知っておきたい!小児のIBD診療】小児IBDの治療における注意点. *IBD Research* 2024 ; 18 (3) : 171-177.
3. 加藤 健, 水落建輝. 【公費補助制度を使いこなす!】潰瘍性大腸炎. *小児科診療* 2024 ; 87 (8) : 1102-1106.
4. 津村直弥, 水落建輝. 【消化器関連検査を極める!】血液検査 炎症反応, 免疫学的検査. *小児科診療* 2024 ; 87 (9) : 1225-1229.
5. 加藤 健, 水落建輝. 【母子感染の最新知識】ウイルス感染症 C型肝炎ウイルス. *周産期医学* 2024 ; 54 (5) : 590-593.
6. 坂口廣高, 水落建輝. 【胆道閉鎖症の研究update】血清MMP-7の臨床的有用性. *小児外科* 2024 ; 56 (2) : 152-154.

—特別講演・教育講演・シンポジウム・セミナー—

—国内学会・研究会

1. 水落建輝, 虫明聡太郎, 位田 忍, 田口智章. 分野別シンポジウム12 小児科医が知っておきたい乳幼児期の便通異常. 乳幼児期の下痢症: 難治性下痢症診断の手引きの活用. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (Hybrid, 福岡)

2. 水落建輝. 教育セミナー17 乳児胆汁うっ滞症の鑑別と見逃してはいけない内科的治療可能な疾患. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (Hybrid, 福岡)
3. 水落建輝. 特別講演 こどものおなかの病気を科学する～聖マリア病院勤務とアメリカ留学から繋がった地方から発信する多施設共同研究～. 聖マリア病院地域医療支援講演会. 2024.6.10 (久留米)
4. 水落建輝, 川口 巧. 特別企画「肝疾患における移行期医療」【第二部】ウイルソン病患者の移行期支援. 地方大学病院小児科における Wilson 病の移行期支援. 第60回日本肝臓学会総会. 2024.6.13-14 (Hybrid, 熊本)
5. 水落建輝. 特別講演 外来でみる小児の長引く腹痛・便秘・下痢・血便. 第217回 宗像小児科医会 講演会. 204.8.22 (宗像)
6. 水落建輝. 特別講演 最近増えているこどもの慢性的な腹痛と便通異常をきたす疾患～機能性消化管疾患・炎症性腸疾患・便秘を中心に～. 山形県鶴岡市立荘内病院 小児科学術講演会. 2024.9.20 (鶴岡)
7. 水落建輝. 学会賞受賞講演 こどものおなかの病気を科学する～出会いと助けから繋がった Physician Scientist への道～. 第51回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2024.10.4-6 (東京)
8. 水落建輝. 特別講演 外来でみる小児の長引く腹痛と便通異常. 第593回北九州地区小児科医会学術講演会. 2024.11.14 (Web)
9. 水落建輝. 特別講演 外来でみる小児の慢性腹痛. 2024年度苦笑会. 2024.11.26 (福岡)

—企業主催講演会—

1. 水落建輝. 小児思春期IBD診療のコツと移行期医療. 鹿児島IBD医療連携講演会～移行期医療を考える. 主催 杏林製薬株式会社. 2024.3.1 (Hybrid, 鹿児島)
2. 水落建輝. 小児IBD治療指針令和5年度改訂版のポイント. 西日本小児思春期IBDセミナー. 主催 ミヤリサン製薬株式会社. 2024.6.28 (Hybrid, 大阪)
3. 水落建輝. 小児IBDの特徴と治療. アヅヴィ合同会社 社内勉強会. 2024.8.2 (東京)
4. 水落建輝. 小児消化器肝臓病の成人診療科への移行期医療～ウイルス性肝炎, Wilson病, IBDを中心に～. 移行期医療セミナー. 主催 ノーベルファーマ株式会社. 2024.9.9 (Web)
5. 水落建輝. 小児思春期IBDの特徴と移行期医療. Kobe IBD Open Conference 2024. 主催 アヅヴィ合同会社. 2024.9.12 (Hybrid, 神戸)
6. 水落建輝. 小児IBDの診療と研究の最前線. 小児消化器学術講演会 in 神戸 2024. 主催 ミヤリサン製薬株式会社. 2024.11.7 (Web, 神戸)

—学会・研究会演題—

—国際学会—

1. Tsumura N, Imagawa K, Kato K, Ohara O, Nishikomori R, Mizuochi T; JPAILD Study Investigators. Exploring disease-associated genetic variants in Japanese pediatric patients with autoimmune liver disease: a multicenter study. The Liver Meeting 2024. 2023.11.15-19 (San Diego, USA)

—国内学会—

1. 仁平寛士, 日衛嶋栄太郎, 村本雄哉, 塩川雅広, 新井勝大, 工藤孝広, 岩間 達, 水落建輝, 十河 剛, 梶恵美里, 河合利尚, 笹原洋二, 大西秀典, 岡田 賢, 金兼弘和, 西小森隆太, 本田吉孝, 滝田順子, 井澤和司, 八角高裕. 抗integrin $\alpha v \beta$ 抗体の小児IBDにおける多施設検討. 第7回日本免疫不全・自己炎症学会学術集会. 2024.3.22-24 (東京)

2. 加藤 健, 水落建輝, 津村直弥, 安田亮輔, 山下裕史朗. 小児の炎症性腸疾患におけるメサラジン不耐症とチオプリン不耐症の関係性. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (Hybrid, 福岡)
3. 津村直弥, 水落建輝, 加藤 健, 安田亮輔, 山下裕史朗. 小児の炎症性腸疾患におけるインフリキシマブの長期継続率に関する検討. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (Hybrid, 福岡)
4. 中村優也, 津村直弥, 加藤 健, 北城恵史郎, 日吉祐介, 田中征治, 西小森隆太, 水落建輝, 山下裕史朗. 消化器症状が目立たなかった好酸球性消化管疾患に伴う蛋白漏出性胃腸症の乳児. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (Hybrid, 福岡)
5. 水落建輝, 鈴木光幸, 岩間 達, 虻川大樹, 今川和生, 田中智子, 寺林 武, 作井 将, 久保和也. マラリキシバットの有効性及び安全性: アラジール症候群を対象にした国内第3相試験. 第51回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2024.10.4-6 (東京)
6. 水落建輝, 虻川大樹, 川名克芳, 小林真理子, 岩下恵理, 田尻 仁. 3歳以上12歳未満のC型慢性肝炎患者に対するグレカプレビル水和物/ピブレンタスビルの使用成績. 第51回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2024.10.4-6 (東京)
7. 津村直弥, 加藤 健, 西小森隆太, 水落建輝; JPAILD Study Investigators. 小児自己免疫性肝炎における新規血清マーカーの探索: 多機関共同研究. 第51回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2024.10.4-6 (東京)
8. 加藤 健, 津村直弥, 水落建輝. 高血圧を合併したステロイド抵抗性のIgA血管炎に対して diaminodiphenyl sulfone が奏効した小児例. 第51回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2024.10.4-6 (東京)
9. 木村 拓, 津村直弥, 加藤 健, 安田亮輔, 高木祐吾, 水落建輝. 超早期発症型炎症性腸疾患と monogenic-IBD の臨床的特徴: 単施設13年の経験. 第51回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2024.10.4-6 (東京)
10. 安元和博, 木村 拓, 津村直弥, 加藤 健, 安田亮輔, 水落建輝. 超早期発症型炎症性腸疾患の臨床的特徴. 第77回九州小児科学会. 2024.11.16-17 (熊本)

一研究会・地方会

1. 加藤 健, 津村直弥, 安田亮輔, 水落建輝. 小児期に大腸全摘術や予後不良な転帰となった潰瘍性大腸炎の臨床像: 単施設の経験. 第24回日本小児IBD研究会. 2024.3.1-2 (Hybrid, さいたま)
2. 津村直弥, 加藤 健, 安田亮輔, 水落建輝. 小児IBDの腸管外合併症に対して抗TNF α 抗体からウスチキヌマブへのスイッチが有効であった2例. 第24回日本小児IBD研究会. 2024.3.1-2 (Hybrid, さいたま)
3. 大武瑞樹, 木下正啓, 原 直子, 緑川浩子, 嶽間澤昌史, 中村美彩, 久保雄太郎, 新居見真吾, 北城恵史郎, 日吉祐介, 田中征治, 水落建輝. 妊娠中のアンジオテンシンII受容体拮抗薬/Ca拮抗薬合剤の内服により羊水過少に至った早産児例. 第525回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.6.8 (Hybrid, 福岡)
4. 金堂円太郎, 阪田健祐, 石井隆大, 弓削康太郎, 小池敬義, 原 宗嗣, 水落建輝, 古田啓一郎, 森岡基浩. インフルエンザA感染による意識障害と左上下肢の脱力を契機にもやもや病と診断した1例. 第525回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.6.8 (Hybrid, 福岡)
5. 水落建輝, 虻川大樹, 東 良紘, 乾あやの, 鈴木高子, 八木弘子, 熊谷秀規, 虫明聡太郎, 徳原大介, 田尻仁. 3~11歳の小児C型肝炎に対するグレカプレビル・ピブレンタスビルの有効性と安全性: 多施設観察研究(第1報). 第40回日本小児肝臓研究会. 2024.7.20-21 (Hybrid, 津山)
6. 津村直弥, 今川和生, 加藤 健, 小原 収, 西小森隆太, 水落建輝; JPAILD Study Investigators. 小児期に発症した自己免疫性肝疾患における病因遺伝子の探索研究. 第40回日本小児肝臓研究会. 2024.7.20-21 (Hybrid, 津山)

7. 安元和博, 木村 拓, 津村直弥, 加藤 健, 安田亮輔, 水落建輝. 当院における超早期発症型炎症性腸疾患の臨床的特徴. 第526回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.9.14 (Hybrid, 福岡)

—学会・研究会主催—

1. 水落建輝(会長). 令和6年度(第70回)福岡県小児保健研究会・母子保健関係者研修会. 2024.12.7(久留米)
2. 水落建輝(当番世話人). 第9回Pediatric IBD Case Conference (PIBD-CC). 2024.12.21 (Web)

—受賞・獲得研究費—

1. 水落建輝. 2024年度日本小児栄養消化器肝臓学会 学会賞.
2. 水落建輝(代表). 久留米リサーチ・パーク「オーファンドラッグ開発基盤の構築」. 2024年度 800万円.
3. 水落建輝(研究分担者). AMED 田尻班「小児のウイルス性肝炎の経過及び治療選択に関する研究」. 2024年度 45万円.
4. 水落建輝(研究分担者). 厚労省科研 田口班「希少難治性消化器疾患の長期的QOL向上と小児期からのシームレスな医療体制構築」. 2024年度 20万円.

循環器

—論文—

【英語論文原著】

1. Inoue T, Takase R, Uchida K, Kodo K, Suda K, Watanabe Y, Yoshiura K, Kunimatsu M, Ishizaki R, Azuma K, Inai K, Muneuchi J, Furutani Y, Akagawa H, Yamagishi H. The c.1617del variant of TMEM260 is identified as the most frequent single gene determinant for Japanese patients with a specific type of congenital heart disease. *J Hum Genet.* 2024 May;69(5):215-222.
2. Maeda Y, Suda K, Inoue T, Kagiya Y, Takase R, Koteda Y. Selective coronary arteriography via transradial access in young children. *Pediatr Int Pediatr Int* 2024 Jan-Dec;66(1):e15841. doi: 10.1111/ped.15841.
3. Vargas-Acevedo C, Mejia E, Kagiya Y, Soszyn N, Zablah JE, Morgan GJ. Use of a mechanical crimper for mounting covered stents in aortic coarctation. *Progress in Pediatric Cardiology.* 2024;74:101730

【英語論文総説】

1. Kagiya Y, Kenny D, Hijazi ZM. Current status of transcatheter intervention for complex right ventricular outflow tract abnormalities. *Glob Cardiol Sci Pract.* Jan 3 2024;2024(1):e202407.

【英語症例報告】

1. Tsuda K, Kishimoto S, Kagiya Y, Koteda Y, Suda K. Pitfall in acute care of Kawasaki disease: Anomalous origin of the left coronary artery from the pulmonary artery – secondary publication. *J Pediatr Cardiol Cardiac Surg* 2023;7(1): 36-40.

【日本語論文原著】

1. 喜瀬広亮, 金 成海, 松井彦郎, 犬塚 亮, 芳本 潤, 青木寿明, 加藤温子, 藤本一途, 伊吹圭二郎, 近藤麻衣子, 長友雄作, 隈丸 拓, 宮田裕章, 原 英彦, 須田憲治, 西川 浩, 杉山 央, 富田 英, 矢崎 諭, 小林俊樹, 大月審一. 2020年における先天性心疾患, 川崎病および頻拍性不整脈に対するカテーテルインターベンション・アブレーション全国集計: ~日本先天性心疾患インターベンション学会レジストリー(JCIC-Registry)からの年次報告~ *J JCIC* 2024: 8(2): 25-34.

—著書—

【日本語の本】

1. 須田憲治 第Ⅱ章 診断・治療《総論》 E. 臨床検査7 心血管造影 pp 155-159, 編集 日本小児循環器学会 小児・成育循環器学 改訂第2版 診断と治療社 2024

【日本語依頼原稿】

1. 高瀬隆太, 須田憲治 特集 小児の鉄代謝 2. 小児心不全と鉄代謝 小児科 65 (9), 830-834, 2024 金原出版

—講演・シンポジウム—

—国際学会—

1. Suda K. Large ASD. The 10th Vietnam congress of congenital heart disease. 2024.1.17-1.19, Ho Chi Minh, Vietnam
2. Kagiya Y. Heart block after transcatheter ASD closure. The 10th Vietnam Congress of Congenital Heart Disease 2024/1/17-19, Ho Chi Minh, Vietnam
3. Kagiya Y. Diameter of the carotid, axillary, and femoral arteries in infants less than 2.5kg of body weight. JCK Asian Pacific Heart Forum 2024 2024/7/12-13, Fukuoka, Japan
4. Suda K. PET nuclear scans of coronary arteries. Cardiac Imaging of CAA Follow-up. 14th International Kawasaki disease symposium (IKDS) 2024/8/26-8/29 Montreal, Canada.

—国内学会—

1. 須田憲治, 佐々木雅浩, 山川祐輝, 清松光貴, 津田恵太郎, 前田靖人, 高瀬隆太, 寺町陽三, 家村素史. 「No-Fluoro, Zero contrast を目指して」 心腔内エコーガイドによる Zero Contrast 動脈管閉鎖術. シンポジウム1 第34回日本先天性心疾患インターベンション学術集会 2024.1.25 (名古屋)
2. 前田靖人, 清松光貴, 山川祐輝, 津田恵太郎, 高瀬隆太, 寺町陽三, 財満康之, 庄嶋賢弘, 須田憲治. 「ASD カテーテル治療; 限界と使い分け」 10kg未満でのASDカテーテル治療. 第34回日本先天性心疾患インターベンション学会 2024.1.25 (名古屋)
3. 須田憲治, 山川祐輝, 清松光貴, 津田恵太郎, 前田靖人, 鍵山嘉之, 高瀬隆太, 寺町陽三, 家村素史. スポンサーセミナー5 「そのASD, いつ閉鎖する? -心房中隔欠損に対するカテーテル治療の至適時期を考察する-」. 低体重児に対するASDカテーテル治療閉鎖術の意義を再考する. 第34回日本先天性心疾患インターベンション学会 2024.1.26 (名古屋)
4. 前田靖人, 山川祐輝, 清松光貴, 津田恵太郎, 佐々木雅浩, 高瀬隆太, 寺町陽三, 家村素史, 須田憲治. ワイヤフレームストレスインデックス (WFSI) はゴア心房中隔欠損オクルーダーのワイヤーフレームラクターを予測できる. 小池賞・JCIC賞 第34回日本先天性心疾患インターベンション学術集会 2024.1.26 (名古屋)
5. 須田憲治, 山川祐輝, 清松光貴, 津田恵太郎, 前田靖人, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 寺町陽三, 家村素史. 低体重児に対するASDカテーテル治療閉鎖術の意義を再考する. スポンサーセミナー5「そのASD, いつ閉鎖する? -心房中隔欠損に対するカテーテル治療の至適時期を考察する-」 第34回日本先天性心疾患インターベンション学術集会 2024.1.27 (名古屋)
6. 寺町陽三, 須田憲治. 新生児Ebstein病/三尖弁異形成の左心室機能 シンポジウム4 重症Ebstein病の診療胎児から新生児まで 第60回日本小児循環器学会 2024.7.11 (福岡)

7. 鍵山慶之, 寺町陽三, 清松光貴, 津田恵太郎, 前田靖人, 高瀬隆太, 家村素史, 須田憲治. 高リスク症例に対する 経皮的心房中隔欠損閉鎖術 パネルディスクカッショ ン1 低侵襲の治療をもっと多くのこどもたちへ～心房中隔欠損～. 第60回日本小児循環器学会 2024.7.12 (福岡)

－研究会・学会地方会

1. 須田憲治. 川崎病の慢性期管理. 第79回広島小児循環器病研究会 2024.6.1 (広島)
2. 寺町陽三. 胎児の脈診. 第9回九州山口胎児心臓研究会 2024.12.7 (福岡)

－その他

1. 須田憲治. こどもの心臓病と最新の治療. 久留米大学循環器病研究所市民公開講座 2024.12.1 (久留米)

－学会・研究会演題－

－国際学会 (ポスター)

1. Kiyomatsu K, Suda K, Yamakawa Y, Tsuda K, Maeda Y, Sasaki M, Takase R, Teramachi Y, Iemura M. Non-contrast closure of patent arterial duct using intracardiac echocardiography. 57th annual meeting of the association for European paediatric and congenital cardiology. May 8-11,2024 (Porto, Portugal)
2. Yoshikane Y, Fukazawa R, Makoto W, Takeda A, Takatsuki S, Hirono K, Kato T, Ikeda I, Kobayashi N, Suda K, Nagata H, Imanaka-Yoshid K. Development of a biomarker to predict refractory cases in Kawasaki disease patients -towards the development of diagnostic kit-. Annual meeting of the American Heart Association. November 16-18,2024 (Chicago, USA)
3. Takase R, Kiyomatsu K, Kagiya Y, Teramachi Y, Iwanaga A, Hashikawa K, Fukui K, Murota H, Nakama T, Suda K, Watanabe Y. 「A case of a 9-year-old girl with hypertension following Kawasaki disease, later diagnosed with pseudoxanthoma elasticum (PXE)」 第69回日本人類遺伝学会 2024.10.10 (札幌)

－国内学会 (口演)

1. 須田憲治, 佐々木雅浩, 赤木慎治, 福本義弘. 冠動脈バイパス術後で繰り返す肺動脈狭窄の治療に難渋しているファロー四徴の1例. 第25回日本成人先天性心疾患学会 2024.1.6 (東京)
2. 前田靖人, 山川祐輝, 清松光貴, 津田恵太郎, 高瀬隆太, 寺町陽三, 須田憲治. ゴアカーディオフォーム ASD オクルーダー使用中に心房中隔欠損に高エコー輝度の紐状陰影が出現した2症例. 第34回日本先天性心疾患インターベンション学術集会 2024.1.26 (名古屋)
3. 清松光貴, 津田恵太郎, 前田靖人, 高瀬隆太, 寺町陽三, 家村素史, 須田憲治. 多孔性心房中隔欠損症に対する治療戦略. 第34回日本先天性心疾患インターベンション学術集会 2024.1.26 (名古屋)
4. 寺町陽三, 前野泰樹, 須田憲治. Ductal dependent arch branching abnormality の2例. 第30回日本胎児心臓病学会 2024.2.18 (東京)
5. 山川祐輝, 寺町陽三, 前野泰樹, 須田憲治. 胎児期の左上静脈遺残で出生後に心房中隔欠損を伴った肺高血圧症を認めた1例. 第30回日本胎児心臓病学会 2024.2.18 (東京)
6. 須田憲治, 佐々木雅浩, 山川祐輝, 清松光貴, 津田恵太郎, 前田靖人, 高瀬隆太, 寺町陽三, 家村素史. 体重10kg未満の心房中隔欠損症カテーテル治療. 第127回日本小児科学会学術集会 2024.4.19 (福岡)
7. 山川祐輝, 佐々木雅浩, 清松光貴, 津田恵太郎, 前田靖人, 高瀬隆太, 寺町陽三, 家村素史. 前腕からの静脈採血後に指摘された上腕仮性動脈瘤に対して血管形成術を施行した乳児例. 第127回日本小児科学会学術集会 2024.4.20 (福岡)

8. 高瀬隆太, 清松光貴, 鍵山慶之, 寺町陽三, 岩永 聡, 橋川恵子, 室田浩之, 名嘉眞武國, 渡邊順子, 須田憲治. 川崎病を契機に高血圧を指摘され, 後に弾性線維性仮性黄色腫の診断に至った9歳女児例 第44回日本川崎病学会 2024.10.4 (東京)
9. 小竹 由, 高瀬隆太, 大津生利衣, 山川祐輝, 清松光貴, 鍵山慶之, 寺町陽三, 須田憲治. 遠隔期に巨大冠動脈瘤の再拡大を呈した2症例. 第44回日本川崎病学会 2024.10.5 (東京)
10. 大津生利衣, 寺町陽三, 清松光貴, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 須田憲治. 初回免疫グロブリン療法で速やかに解熱したにも関わらず中等度以上の冠動脈瘤を合併した2例. 第44回日本川崎病学会学術集会 2024.10.4 (東京)
11. 佐藤ひかる, 高瀬隆太, 安元和博, 山下哲矢, 清松光貴, 福井香織, 須田憲治, 渡邊順子. 「31生日から酵素補充療法を開始し心筋肥大が改善した乳児型ポンペ病の1例」 第65回日本先天性代謝異常学会 2024.11.8 (東京)

—国内学会 (ポスター) —

1. 津田恵太郎, 前田靖人, 家村素史, 須田憲治. TS-ASDでデバイス展開直後よりCAVBが出現しデバイス除去後も術後のCAVBが遷延した一例. 第34回先天性心疾患カテーテル治療学会 2024.1.25 (名古屋)
2. 山川祐輝, 清松光貴, 津田恵太郎, 前田靖人, 佐々木雅浩, 高瀬隆太, 寺町陽三, 須田憲治. PDAに対してデバイス留置後に大動脈側のdiscが膨大部内に移動した2例. 第34回先天性心疾患カテーテル治療学会 2024.1.25 (名古屋)

—研究会・学会地方会

1. 清松光貴, 高瀬隆太, 鍵山慶之, 寺町陽三, 須田憲治. 当院における関節炎を来した川崎病症例の臨床像の検討. 第22回九州川崎病研究会 2024.5.25 (長崎)

—その他

—研究費・受賞—

—研究費

1. 須田憲治. AMED難治性疾患実用化研究事業 (吉兼班) 「川崎病冠動脈瘤を予防するための急性期難治例予測診断法の開発研究」 (R6年度)
2. 須田憲治. 厚生労働省難治性疾患政策研究事業 (大内班) 「先天性心疾患を主体とする小児期発症の心血管難治性疾患の救命率の向上と生涯にわたるQOL改善のための総合的研究」 (R6年度)
3. 須田憲治. 文部科学省科学研究費基盤研究 (C) 「低出生体重と内臓脂肪が学童の心血管機能に及ぼす影響の検討」 (R6年度)
4. 寺町陽三. 文部科学省科学研究費若手研究 「サイトカイン及びmRNA 遺伝発現解析で迫る先天性完全房室ブロック発症機序解明」 (R6年度)
5. 高瀬隆太. 文部科学省科学研究費若手研究 「エピゲノム解析による免疫グロブリン療法抵抗性川崎病の機序解明」 (R6年度)
6. 鍵山慶之. 文部科学省科学研究費若手研究 「在胎不当過小児への成長ホルモン過剰による血管機能障害および動脈硬化前病変の調査」 (R6年度)
7. 前田靖人. 文部科学省科学研究費若手研究 「導出18誘導心電図を用いた肺高血圧症の診断方法の」 (R6年度)

—受賞—

1. 大津生利衣. Case Report 賞受賞「初回免疫グロブリン療法で速やかに解熱したにも関わらず中等度以上の冠動脈瘤を合併した2例」. 第44回日本川崎病学会学術集会 2024.10.4 (東京)

免疫膠原病

—論文—

1. Ando T, Abe Y, Yamaji K, Nishikomori R, Tamura N. A case of cryopyrin-associated periodic syndrome due to somatic mosaic mutation complicated with recurrent circinate erythematous psoriasis. *Mod Rheumatol Case Rep.* 2024;8(2):368-372.
2. Andou M, Tominaga M, Nishikomori R, Gotoh K, Komatsu N, Matsuoka M, Kawayama T, Hoshino T. STAT1 Mutations in Chronic Mucocutaneous Candidiasis Diagnosed in an Adult. *Intern Med.* 2024;63(9):1269-1271.
3. Kanegane H, Endo A, Okada S, Ohnishi H, Ishimura M, Nishikomori R, Imai K, Nonoyama S, Muramatsu H, Wada T, Kuga A, Sakamoto K, Russo-Schwarzbaum S, Chu LH, McCoy B, Li Z, Yel L. Pharmacokinetics, safety, and efficacy of 20% subcutaneous immunoglobulin (Ig20Gly) administered weekly or every 2 weeks in Japanese patients with primary immunodeficiency diseases: a phase 3, open-label study. *Immunother Adv.* 2024;4(1):ltae001.
4. Kirino Y, Maeda A, Asano T, Migita K, Hidaka Y, Ida H, Kobayashi D, Oda N, Rokutanda R, Fujieda Y, Atsumi T, Kishida D, Kobayashi H, Shiratsuchi M, Shimizu T, Kawakami A, Tanaka K, Tsuji T, Mishima K, Miyamae T, Hasegawa A, Ikeda K, Watanabe T, Yamaguchi Y, Nishikomori R, Ohara O, Nakajima H. Low remission rates and high incidence of adverse events in a prospective VEXAS syndrome registry. *Rheumatology (Oxford).* 2024.
5. Luca D, Lee S, Hirota K, Okabe Y, Uehori J, Izawa K, Lanz AL, Schütte V, Sivri B, Tsukamoto Y, Hauck F, Behrendt R, Roers A, Fujita T, Nishikomori R, Lee-Kirsch MA, Kato H. Aberrant RNA sensing in regulatory T cells causes systemic autoimmunity. *Sci Adv.* 2024;10(9):eadk0820.
6. Maeda A, Tsuchida N, Uchiyama Y, Horita N, Kobayashi S, Kishimoto M, Kobayashi D, Matsumoto H, Asano T, Migita K, Kato A, Mori I, Morita H, Matsubara A, Marumo Y, Ito Y, Machiyama T, Shirai T, Ishii T, Kishibe M, Yoshida Y, Hirata S, Akao S, Higuchi A, Rokutanda R, Nagahata K, Takahashi H, Katsuo K, Ohtani T, Fujiwara H, Nagano H, Hosokawa T, Ito T, Haji Y, Yamaguchi H, Hagino N, Shimizu T, Koga T, Kawakami A, Kageyama G, Kobayashi H, Aoki A, Mizokami A, Takeuchi Y, Motohashi R, Hagiwara H, Itagane M, Teruya H, Kato T, Miyoshi Y, Kise T, Yokogawa N, Ishida T, Umeda N, Isogai S, Naniwa T, Yamabe T, Uchino K, Kanasugi J, Takami A, Kondo Y, Furuhashi K, Saito K, Ohno S, Kishimoto D, Yamamoto M, Fujita Y, Fujieda Y, Araki S, Tsushima H, Misawa K, Katagiri A, Kobayashi T, Hashimoto K, Sone T, Hidaka Y, Ida H, Nishikomori R, Doi H, Fujimaki K, Akasaka K, Amano M, Matsushima H, Kashino K, Ohnishi H, Miwa Y, Takahashi N, Takase-Minegishi K, Yoshimi R, Kirino Y, Nakajima H, Matsumoto N. Efficient detection of somatic UBA1 variants and clinical scoring system predicting patients with variants in VEXAS syndrome. *Rheumatology (Oxford).* 2024;63(8):2056-2064.
7. Miyamoto T, Izawa K, Masui S, Yamazaki A, Yamasaki Y, Matsubayashi T, Shiraki M, Ohnishi H, Yasumura J, Kawabe T, Miyamae T, Matsubara T, Arakawa N, Ishige T, Takizawa T, Shimbo A, Shimizu M, Kimura N, Maeda Y, Maruyama Y, Shigemura T, Furuta J, Sato S, Tanaka H, Izumikawa M, Yamamura M, Hasegawa T, Kaneko H, Nakagishi Y, Nakano N, Iida Y, Nakamura T, Wakiguchi H, Hoshina T, Kawai T, Murakami K, Akizuki S, Morinobu A, Ohmura K, Eguchi K, Sonoda M, Ishimura M, Furuno K, Kashiwado M, Mori M, Kawahata K, Hayama K, Shimoyama K, Sasaki N, Ito T, Umebayashi H, Omori T, Nakamichi S, Dohmoto T, Hasegawa Y, Kawashima H, Watanabe S, Taguchi Y, Nakaseko H, Iwata N, Kohno H, Ando T, Ito Y, Kataoka Y, Saeki T, Kaneko U, Murase A, Hattori S, Nozawa T, Nishimura K, Nakano R, Watanabe M,

Yashiro M, Nakamura T, Komai T, Kato K, Honda Y, Hiejima E, Yonezawa A, Bessho K, Okada S, Ohara O, Takita J, Yasumi T, Nishikomori R. Clinical Characteristics of Cryopyrin-Associated Periodic Syndrome and Long-Term Real-World Efficacy and Tolerability of Canakinumab in Japan: Results of a Nationwide Survey. *Arthritis Rheumatol.* 2024;76(6):949-962.

8. Shibata H, Nakajima D, Konno R, Hijikata A, Higashiguchi M, Nihira H, Shimodera S, Miyamoto T, Nishitani-Isa M, Hiejima E, Izawa K, Takita J, Heike T, Okamura K, Ohnishi H, Ishimura M, Okada S, Yamashita M, Morio T, Kanegane H, Imai K, Nakamura Y, Nonoyama S, Uchiyama T, Onodera M, Nishikomori R, Ohara O, Kawashima Y, Yasumi T. A Non-targeted Proteomics Newborn Screening Platform for Inborn Errors of Immunity. *J Clin Immunol.* 2024;45(1):33.
9. Taneda T, Takahashi M, Umeda M, Umeda Y, Oyake M, Nishikomori R, Fujita N. [Cryopyrin-associated periodic fever syndrome (CAPS) presenting as early-onset dementia, lacking typical recurrent fever or skin rash: a case report]. *Rinsho Shinkeigaku.* 2024;64(6):413-416.
1. 西小森隆太, 北城恵史郎, 日吉祐介, 新居見真吾, 田中征治. 【リウマチ性疾患における分子標的療法の現在と未来－主に生物学的製剤を用いて－】自己炎症性疾患. *リウマチ科.* 2024 ; 71 (6) : 618-626.
2. 種田朝音, 高橋瑞喜, 梅田麻衣子, 梅田能生, 小宅睦郎, 西小森隆太, 藤田信也. 皮疹と発熱を欠き, 亜急性に認知機能低下を来したクリオピリン関連周期熱症候群の1例. *臨床神経学.* 2024 ; 64 (6) : 413-416.
3. 新居寛子, 三木浩和, 高橋真美子, 岡本秀樹, 前田悠作, 住谷龍平, 大浦雅博, 曾我部公子, 八木ひかる, 丸橋朋子, 原田武志, 藤井志朗, 中村信元, 岩佐 武, 西小森隆太. 皮疹と発熱を欠き, 亜急性に認知機能低下を来したクリオピリン関連周期熱症候群の1例. *臨床神経学.* 2024 ; 64 (6) : 413-416.
4. 西小森隆太, 北城恵史郎, 井澤和司. エカルディ・グティエール症候群. *炎症と免疫.* 2024 ; 32 (5) : 432-436.
5. 金兼弘和, 西小森隆太. 【公費補助制度を使いこなす!】原発性免疫不全症 (X連鎖無ガンマグロブリン血症等). *小児科診療.* 2024 ; 87 (8) : 1054-1059.

—講演・シンポジウム—

—研究会・学会地方会

1. 西小森隆太. 日常に潜んでいる不明熱について. 第8回南大阪小児免疫疾患研究会. 2024.1.25 (堺市)
2. 西小森隆太. 本邦の自己炎症性疾患—疫学, 病態, 診断システム. 自己炎症性疾患フォーラム. 2024.6.28 (相模原市)

—その他

1. 西小森隆太. 遺伝性自己炎症性疾患の最新研究 CAPSの研究. 希少難治性皮膚疾患の最新研究. 2024.11.9 (東京)

—学会・研究会—

—国内学会

1. 日高由紀子, 蓮尾友里, 原田裕美, 岩永恵梨那, 古賀琢真, 海江田信二郎, 西小森隆太, 井田弘明. 小児の膠原病および若年性特発性関節炎・自己炎症症候群 新規遺伝子変異が同定された肥厚性硬膜炎合併マックルウェルズ症候群の一例. 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2024.4.18-20 (神戸)
2. 西小森隆太, 北城恵史郎, 田中征治. 2つの疾患関連性が推定されたNLRP3変異を有するクリオピリン関連周期熱症候群の1例第68回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2024.4.18-20 (神戸)

3. 江藤美咲, 末継智士, 甲斐蘭七, 山川祐輝, 北城恵史郎, 日吉祐介, 田中征治, 西小森隆太, 山下裕史朗. 透析導入を回避できた溶連菌感染後糸球体腎炎 (PSAGN) の1例. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (福岡)
4. 中村優也, 津村直弥, 加藤 健, 北城恵史郎, 日吉祐介, 田中征治, 西小森隆太, 水落建輝, 山下裕史朗. 消化器症状に乏しかった好酸球性消化管疾患に伴う蛋白漏出性胃腸症の乳児例. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (福岡)
5. 新居見真吾, 北城恵史郎, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 田中征治, 西小森隆太, 山下裕史朗. 急速に増大したADPKDにトルバプタンを導入した男児の1例. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (福岡)
6. 中村優也, 津村直弥, 加藤 健, 北城恵史郎, 日吉祐介, 田中征治, 西小森隆太, 水落建輝, 山下裕史朗. 消化器症状が目立たなかった好酸球性消化管疾患に伴う蛋白漏出性胃腸症の乳児. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (福岡)
7. 西小森隆太, 種田朝音, 荻野 諒, 北城恵史郎, 日吉祐介, 田中征治, 藤田信也, 山下裕史朗. 2つの疾患関連変異が疑われたクリオピリン関連周期性症候群症例. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (福岡)
8. 新居見真吾, 於保貴彦, 田中征治, 日吉祐介, 北城恵史郎, 倉田悟子, 荒木潤一郎, 棚成嘉文, 西小森隆太, 山下裕史朗. 青年期全身性エリテマトーデス (SLE) 患者における新型コロナワクチンの免疫原性と安全性. 第59回日本小児腎臓病学会学術集会. 2024.6.7-8 (福岡)
9. 津村直弥, 加藤 健, 西小森隆太, 水落建輝. 肝臓 AIH/PSCの最新知見 小児自己免疫性肝炎における新規血清マーカーの探索 多機関共同研究. 第51回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2024.10.4-6 (東京)
10. 仁平寛士, 中島大輔, 井澤和司, 川島祐介, 柴田洋史, 村上孝作, 大西秀典, 岡田 賢, 山下 基, 森尾友宏, 金兼弘和, 今井耕輔, 内山 徹, 小野寺雅史, 石川尊士, 河合利尚, 滝田順子, 西小森隆太, 小原 収, 八角高裕. 乾燥ろ紙血を用いたnon-targetプロテオーム解析によるIFN signatureは, 先天性免疫異常症の早期診断を可能とする. 第52回日本臨床免疫学会総会. 2024.10.10-12 (東京)

—研究費—

1. 西小森隆太. AMED・難治性疾患実用化研究事業「乾燥ろ紙血プロテオーム解析を用いた原発性免疫不全症診断の効率化研究」(研究開発分担者・継続) 60万円
2. 西小森隆太. AMED・ゲノム創薬基盤推進研究事業「MEFV遺伝子の網羅的なVUS機能的アノテーションと新規Ex vivo assayを用いた患者細胞機能評価・詳細な遺伝子型解析の統合による家族性地中海熱の病態及びパイリンインフラマソーム活性化機構解明」(研究開発分担者・継続) 50万円
3. 西小森隆太. AMED・難治性疾患実用化研究事業「インフラマソーム関連腸炎の病態解明ならびに診断法確立」(研究開発分担者・継続) 25万円
4. 西小森隆太. AMED・難治性疾患実用化研究事業「網羅的ゲノム解析のデータ二次利用に基づく原発性免疫不全症の広域診断体制構築に直結するエビデンス創出研究」(研究開発分担者・新規) 100万円
5. 西小森隆太. 厚生労働科研費・難治性疾患政策研究事業「自己炎症性疾患とその類縁疾患における, 移行期医療を含めた診療体制整備, 患者登録推進, 全国疫学調査に基づく診療ガイドライン構築に関する研究」(研究代表者・継続) 857万円
6. 西小森隆太. 厚生労働科研費・難治性疾患政策研究事業「原発性免疫不全症候群の全国診療体制確立, 移行医療体制構築, 診療ガイドライン確立に関する研究」(研究分担者・継続) 100万円

7. 西小森隆太. 文部省科学研究費(基盤研究C)「細胞工学的手法によるエカルディ・グティエール症候群の中
枢神経系炎症の機序解明」(研究代表者・継続)100万円

代謝・遺伝

—論文—

1. Inoue T, Takase R, Uchida K, Kodo K, Suda K, Watanabe Y, Yoshiura KI, Kunimatsu M, Ishizaki R, Azuma K, Inai K, Muneuchi J, Furutani Y, Akagawa H, Yamagishi H. The c.1617del variant of TMEM260 is identified as the most frequent single gene determinant for Japanese patients with a specific type of congenital heart disease. *J Hum Genet.* 2024 May;69(5):215-222. doi: 10.1038/s10038-024-01225-w. Epub 2024 Feb 26. Erratum in: *J Hum Genet.* 2024 May;69(5):223. doi: 10.1038/s10038-024-01238-5. PMID: 38409496; PMCID: PMC11043032.
2. 福井香織, 高瀬隆太, 渡邊順子. マイクロアレイ染色体検査を機に診断したジストロフィン異常症の一例. *日本小児科学会雑誌.* 2024 ; 128 (2): 251.

—著書—

1. 渡邊順子. 指定難病最前線 (Volume150) 複合カルボキシラーゼ欠損症. *新薬と臨牀 (0559-8672).* 2024 ; 73 (4): 389-392.
2. 渡邊順子. 【ライソゾーム病2024-最新情報と将来展望-】ライソゾーム病の診断 ライソゾーム病の診療ガイドライン ゴーシェ病. *日本臨床.* 2024 ; 82 (5): 702-707.
3. 渡邊順子. 産婦人科医が知っておくべき新生児マススクリーニング 有機酸代謝異常症. *産婦人科の実際 (0558-4728).* 2024 ; 73 (7): 677-681.
4. 高瀬隆太, 須田憲治. 特集 小児の鉄代謝 2. 小児心不全と鉄代謝 小児科. *金原出版.* 2024 ; 65 (9) : 830-834.

—講演・シンポジウム—

—国内学会—

1. 渡邊順子. 新たな新生児スクリーニングの公費化にむけて-精密検査医療機関の立場から-. 第51回日本マススクリーニング学会学術集会. 2024.8.23-24 (熊本)

—その他—

1. 高瀬隆太. ライソゾーム病と遺伝カウンセリング -ムコ多糖症II型の一例を通じて- 佐賀小児科医会学術講演会. 2024.1.30 (佐賀)
2. 渡邊順子. PKU診療の来し方とこれからの課題. 第51回日本マススクリーニング学会学術集会 2024.8.23-24 (熊本)
3. 渡邊順子. 血友病診療における遺伝カウンセリングの役割. 血友病保因者と遺伝カウンセリングについて考える in NAGASAKI. 2024.8.16 (長崎)
4. 渡邊順子. ライソゾーム病の新生児マススクリーニングの現状と課題. 第20回北関東遺伝診療フォーラム. 2024.11.25 (大宮)
5. 渡邊順子. ENBSで見つかり治療導入できたMPSIIの1例. 九州・沖縄アドバイザーボードミーティング. 2024.11.30 (福岡)

6. 高瀬隆太. ムコ多糖症Ⅱ型 (MPSⅡ) の早期診断と早期治療の意義. JCR先天代謝疾患Seminar. 2024.12.4 (福岡)
7. 高瀬隆太. 35歳で治療を再開し, 50歳代でパリンジックを導入した男性. ECHO Case Discussion. 2024.12.9 (WEB)

—学会・研究会演題—

—国際学会

1. Watanabe Y, Fukui K, Takase R. Two adult cases self-referred to the clinic suspecting citrin deficiency based on their peculiar eating habits: carbohydrate aversion and high protein and fat preference. SSIEM Annual Symposium 2024. 2024.9.3-6 (Porto, Portugal)

—国内学会

1. 福井香織, 高瀬隆太, 渡邊順子. マイクロアレイ染色体検査を機に診断したジストロフィン異常症の一例. 第127回日本小児科学会学術集会, 2024.4.19-21 (福岡)
1. 山本広子, 沼田早苗, 渡邊順子, 愛洲紀子, 三田尾有美, 今城有芸, 井上 充, 中尾佳史. 新たなニーズに応える遺伝外来再開への取り組み. 第48回日本遺伝カウンセリング学会学術集会. 2024.8.2-4 (東京)
2. 高瀬隆太, 福井香織, 渡邊順子. 拡大マスキングから診断に至った乳児型ポンペ病の1例. 第51回日本マスキング学会学術集会. 2024.8.23-24 (熊本)
3. 高瀬隆太, 清松光貴, 鍵山慶之, 寺町陽三, 岩永 聡, 橋川恵子, 室田浩之, 名嘉真武國, 渡邊順子, 須田憲治. 川崎病を契機に高血圧を指摘され, 後に弾性線維性仮性黄色腫の診断に至った9歳女児例. 第44回日本川崎病学会・学術集会. 2024.10.4-5 (東京)
4. Takase R, Kiyomatsu K, Kagiya Y, Yozo Teramachi Y, Iwanaga A, Hashikawa K, Fukui K, Murota H, Nakama T, Yoriko Watanabe Y. A case of a 9-year-old girl with hypertension following Kawasaki disease, later diagnosed with pseudoxanthoma elasticum (PXE). 日本人類遺伝学会第69回大会. 2024.10.9-12 (札幌)
5. Takase R, Fukui K, Iwanaga A, Hashikawa K, murota H, Nakama T, Watanabe Y. A case of Pseudoxanthoma elasticum presenting the cardiovascular symptoms preceding the dermatological symptoms. 日本人類遺伝学会第69回大会. 2024.10.9-12 (札幌)
6. Fukui K, Takase R, Suda K, Watanabe Y. A case of intragenic deletion (exon49-51) in the DMD gene without symptoms of dystrophinopathy. 第69回日本人類遺伝学会学術集会. 2024.10.9-12 (札幌)
7. Muto M, Horinouchi T, Kinoshita M, Fukui K, Takase R, Watanabe Y, Hiyoshi Y, Tanaka S, Akiba J, Seyama R, Uchiyama Y, Matsumoto N, Yoshizato T, Tsuda N. Otopalatodigital syndrome type 2 with prenatal oligohydramnios in two siblings with a novel Filamin A mutation. 日本人類遺伝学会第69回大会. 2024.10.9-12 (札幌)
8. 佐藤ひかる, 高瀬隆太, 安元和博, 山下哲矢, 清松光貴, 福井香織, 須田憲治, 渡邊順子. 31生日から酵素補充療法を開始し心筋肥大が改善した乳児型ポンペ病の1例. 第65回日本先天性代謝異常学会学術集会. 2024.11.7-11.9 (東京)

—研究会・学会地方会

1. 佐藤ひかる, 高瀬隆太, 福井香織, 渡邊順子, 水落建輝. 拡大マスキングを契機に診断に至った乳児型ポンペ病の1例. 第526回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.9.14 (福岡)

－研究費・受賞－

1. 渡邊順子. 分担研究者 令和6年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業「ライソゾーム病, ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを含む)における早期診断・早期治療を可能とする診療提供体制の確立に関する研究」責任者: 奥山虎之

－その他－

1. 渡邊順子. 先天代謝異常学会ガイドライン作成編集委員 ポンペ病(奥山班) 脂肪酸代謝異常症(中村班)

血液

－論文－

1. Yokomine M, Horinouchi T, Yoshizato T, Sumi A, Koganemaru M, Kinoshita M, Ozono S, Ushijima K. Fetal Hepatic Hemangioma Diagnosed in Utero Using Doppler Microvascular Imaging. *Kurume Med J.* 2024;70(1.2):69-72. doi:10.2739/kurumemedj.MS7012008. PMID: 38763740.
2. Ishimura M, Eguchi K, Sonoda M, Tanaka T, Shiraishi A, Sakai Y, Yasumi T, Miyamoto T, Voskoboinik I, Hashimoto K, Matsumoto S, Ozono S, Moritake H, Takada H, Ohga S. Early hematopoietic cell transplantation for familial hemophagocytic lymphohistiocytosis in a regional treatment network in Japan. *Int J Hematol.* 2024 ;119(5):592-602. doi: 10.1007/s12185-024-03721-3. PMID: 38507116.
3. Eguchi K, Ishimura M, Ohga S, Endo S, Saito S, Kamimura S, Keino D, Kato S, Azuma Y, Watanabe A, Inoue A, Higa T, Ozono S, Fujita N, Watanabe K, Takahashi Y; Japan Childhood Aplastic Anemia Study Group. Adjunctive effects of eltrombopag on immunosuppressive therapy for childhood aplastic anemia. *Int J Hematol.* 2024. doi: 10.1007/s12185-024-03903-z. Epub ahead of print. PMID: 39730862.
4. 山口真紀, 高木友輔, 山崎嘉孝, 大屋周期, 中村剛之, 森重 聡, 青山一利, 毛利文彦, 高瀬隆太, 松尾陽子, 大崎 浩, 長藤宏司, 岡村 孝. 手術時第VIII因子製剤投与後に生じたインヒビターに対し免疫抑制療法が奏効した女性血友病A. *臨床血液* 2024 ; 65 (2) ; 90-94.
5. 山口璃紗, 三宅 淳, 田代尚崇, 屋宮清仁, 後藤憲志, 大園秀一, 山下裕史朗. 小児科病棟で1ヵ月半の間に発生したGordonia属菌血症2症例の検討. *小児感染免疫* 2024 ; 36 (3) : 271-276.
6. 小竹 由, 大園秀一, 島田 翔, 満尾美穂, 中川慎一郎, 木下正啓, 山下裕史朗. 胎児期に副腎腫瘍を指摘され生後3ヵ月で肝多発転移した神経芽腫4S期の例. *小児科臨床* 2024 ; 77 (4) : 589-593.
7. 島田 翔, 大園秀一, 満尾美穂, 中川慎一郎, 山下裕史朗, 愛甲崇人, 東舘成希, 古賀義法, 加治 建. 急性骨髄性白血病に合併した虫垂骨髄肉腫の1例. *日本小児血液・がん学会雑誌* 2025 (印刷中)

－著書－

1. 大園秀一. 若年性骨髄単球性白血病の診断と治療. In *EBM血液疾患の治療2025-2026*. 金倉讓監修; 中外医学社(東京) 2024年10月 P568.
2. 大園秀一. 晩期合併症のリスクと長期フォローアップの必要性. In *AYA世代のがん患者のためのこころのケア* 第1章. 1.5節; 日本サイコオンコロジー学会 監修; 丸善出版(東京) 2024年12月 P230.

－講演・シンポジウム－

－国際学会

1. 大園秀一. 基調講演 小児がん経験者の集い(Survivorship Meeting) 第16回国際小児がん学会アジアブランチ2024(SIOP Asia) 横浜SIOP Asia2024. 2024.6.22-25(横浜)

－その他

1. 大園秀一. 元気が出る！小児がん長期フォローアップ. 小児血液・がんセミナー in 中四国. 2024.2.6 (広島)
2. 松尾陽子. 血友病保因者の課題～血友病保因者の実態調査からみえてきた事～. 血友病保因者セミナー. 2024.3.5 (栃木)
3. 松尾陽子. 血友病保因者の支援体制の構築に向けて. 血友病看護ネットワーク. 2024.6.22 (東京)
4. 松尾陽子. 血友病について. 創薬セミナー～血友病治療薬「ヘムライブラ」～ 2024.7.3 (福岡)
5. 松尾陽子. 血友病保因者との関わり方～保因者健診とは～ 九州Hemophilia web meeting. 2024.7.19 (福岡)
6. 松尾陽子. 保因者診療の現状と課題～血友病は男性だけの疾患ではありません～. 産婦人科の先生方と行う血友病保因者診療連携の会 in KUMAMOTO. 2024.8.9 (熊本)
7. 松尾陽子. 血友病保因者の妊娠, 出産～血友病は男性だけの疾患ではありません～. 血友病保因者と遺伝カウンセリングについて考える in NAGASAKI. 2024.8.16 (長崎)
8. 松尾陽子. 血友病保因者を包括的に支援する体制の構築を目指して～血友病保因者の実態調査の中間報告～. 第18回鹿児島ヘモフィリアカンファレンス. 2024.9.6 (鹿児島)
9. 松尾陽子. あなたのその出血, 大丈夫?～血友病は男性だけの疾患ではありません～ 市民公開講座 血友病セミナー. 2024.9.14 (北海道)
10. 松尾陽子. 血友病保因者のマネージメント Hope next 2024. 2024.9.29 (大阪)
11. 松尾陽子. 血友病保因者の妊娠, 出産～血友病は男性だけの疾患ではありません～. 第51回筑豊周産期懇話会. 2024.11.13 (福岡)
12. 島田 翔. ～血友病～ 中外製薬社内研修会. 2024.11.13 (久留米)
13. 大園秀一. 小児のオンコロジックエマージェンシー. 初期研修医向け院内CPCミニレクチャー. 2024.11.17 (久留米)

－学会・研究会演題－

－国際学会

1. 大園秀一. Secondary Cancer Study of Acute Lymphoblastic Leukemia Patients Treated with the Kyushu-Yamaguchi Childhood Cancer Study Group Protocol (九州山口小児がん研究グループの急性リンパ性白血病サバイバーにおける二次がん症例研究) 第16回国際小児がん学会アジアブランチ2024 (SIOP Asia) 横浜 SIOP Asia2024. 2024.6.22-25 (横浜)

－国内学会－

1. 大園秀一, 中川慎一郎, 満尾美穂, 寺田和樹, 早川 晶, JCCG長期フォローアップ委員会. 日本小児がん研究グループ施設医師を対象とした移行期医療の現状に関するアンケート調査. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-4.21 (福岡)
2. 新居見真吾, 日吉祐介, 北城恵史郎, 倉田悟子, 荒木潤一郎, 高瀬隆太, 中川慎一郎, 田中征治, 大園秀一, 須田憲治, 山下裕史朗. 慢性骨髄性白血病 (CML) に対するダサチニブ内服中に発症したメサンギウム増殖性糸球体腎炎 (MesPGN). 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-4.21 (福岡)
3. 満尾美穂, 島田 翔, 大石早織, 中川慎一郎, 大園秀一, 山下裕史朗. 眼の症状を契機に診断された小児悪性腫瘍 当院10年間の症例まとめ. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-4.21 (福岡)

4. 大園秀一, 中川慎一郎, 島田 翔, 明井孝弘, 満尾美穂. 単一施設における造血幹細胞移植経験者の成人医療トランジションの現状. 第66回日本小児血液・がん学会学術集会. 2024.12.13-15 (京都)
5. 満尾美穂, 明井孝弘, 島田 翔, 大石早織, 中川慎一郎, 大園秀一, 向井純平, 海野聡子, 渡邊順子. カテコラミン心筋症を伴った片側性褐色細胞腫を契機に Von Hippel-Lindau 病と診断した女児例. 第66回日本小児血液・がん学会学術集会. 2024.12.13-15 (京都)
6. 島田 翔, 明井孝弘, 満尾美穂, 中川慎一郎, 大園秀一. BRAF 遺伝子異常を有する治療抵抗性腭腫瘍に対してダブラフェニブとトラメチニブの治療を行なった一例. 第66回日本小児血液・がん学会学術集会. 2024.12.13-15 (京都)
7. 明井孝弘, 大園秀一, 島田 翔, 満尾美穂, 中川慎一郎, 横山智美, 大場詩子, 若松 学, 村松秀城. Trisomy8 及び SRSF2 遺伝子変異を認めた骨髄異形成症候群の小児例. 第66回日本小児血液・がん学会学術集会. 2024.12.13-15 (京都)
8. 吉良晴子, 大園秀一. 入院治療終了前後の小児がん患者の両親における外傷後ストレス症状と家族機能の関連. 第66回日本小児血液・がん学会学術集会. 2024.12.13-15 (京都)
9. 副島克史, 佐藤伊織, 小林京子, 上別府圭子, 大園秀一, 石田也寸志, 前田美穂, 瓜生英子, 岩井艶子, 嶋田博之, 森 尚子, 佐藤 篤, 堀部敬三, 真部 淳. ALL-Ph13 においてイマニチブ・ダサニチブを使用した急性リンパ性白血病患者の Quality of Life の推移. 第66回日本小児血液, がん学会学術集会. 2024.12.13-15 (京都)
10. 上田圭希, 中山秀樹, 野口磨依子, 東矢俊一郎, 井上雅崇, 大場詩子, 中島健太郎, トカンヴラッド, 虫本雄一, 満尾美穂, 島田 翔, 大園秀一, 古賀友紀, 大賀正一. 小児がん治療後の筋肉と体組成の評価. 第66回日本小児血液, がん学会学術集会. 2024.12.13-15 (京都)

—研究会・学会地方会

1. 甲斐蘭七, 大園秀一, 島田 翔, 中川慎一郎, 満尾美穂, 安陪由思, 楠川仁悟, 秋葉 純. 下顎骨原発 Spindle Cell Sarcoma の一例. 第29回九州山口小児血液・免疫・腫瘍研究会. 2024.1.6 (福岡)
2. 大園秀一. 当科における小児がん生殖医療の現状. 第48回筑後腫瘍研究会. 2024.7.31 (久留米)

—研究費・受賞—

1. 大園秀一. 日本医療研究開発機構 (AMED) 革新的がん医療実用化研究事業「若年性骨髄単球性白血病 (JMML) に対する標準的化学療法の高率を目指した第2相臨床試験」の開発. 課題管理番号: 23ck0106855h0001 研究開発分担者 (班長: 村松秀城) 令和6年度

—その他—

1. 大園秀一. 厚生労働省委託事業 小児血液・がん学会主催 令和5年度3回 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS) 講師 2024.2.18 (京都: Web研修会)
2. 大園秀一. 厚生労働省委託事業 小児血液・がん学会主催 令和6年度1回 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS) 講師 2024.10.26 (福岡)

腎泌尿器

—論文—

【英文】

1. Hirano D, Fujimaru T, Sako M, Tanaka S, Inaba A, Uchimura T, et al. Recovery from rituximab-associated persistent hypogammaglobulinaemia in children with nephrotic syndrome. *Nephrol Dial Transplant*. 2024.
2. Nozu K, Sako M, Tanaka S, Kano Y, Ohwada Y, Morohashi T, et al. Rituximab in combination with cyclosporine and steroid pulse therapy for childhood-onset multidrug-resistant nephrotic syndrome: a multicenter single-arm clinical trial (JSKDC11 trial). *Clin Exp Nephrol*. 2024;28(4):337-48.

—著書—

1. 日吉祐介, 田中征治. 【紹介医に伝えたい「腎炎・ネフローゼ症候群」- 3歳児検尿・学校検尿のその先は?-】腎炎・ネフローゼ症候群の専門診療 微小変化型ネフローゼ症候群. *小児科診療*. 2024; 87 (6): 693-8.
2. 新居見真吾, 田中征治. 【酸塩基平衡異常-基本と管理】総論 細胞内と細胞外のpHは同じ? *小児内科*. 2024; 56 (7): 1038-9.
3. 田中征治. 日本小児泌尿器科学会編集 【疫学】 精巣診療ガイドライン第2版(2024) 日本小児泌尿器科学会雑誌. 33 2024
4. 田中征治. 腎疾患患者への予防接種 免疫不全状態にある患者に対する予防接種ガイドライン2024 日本小児感染症学会監修 協和企画

—講演・シンポジウム—

—国内学会—

—講演—

1. 田中征治. 小児腎結石の診断と治療. 第59回日本小児腎臓病学会. 2024.6.7-8 (福岡)
2. 田中征治. 移行期医療の現在地 「移行しない」という選択肢. 第59回日本小児腎臓病学会. 2024.6.7-8 (福岡)
3. 田中征治. CPD 水腎症・膀胱尿管逆流証のマネージメント 第59回日本小児腎臓病学会. 2024.6.7-8 (福岡)
4. 田中征治. もう悩まない!急性陰嚢症の疑問に教えてください 陰嚢痛を認める稀な疾患. 第33回日本小児泌尿器科学会 2024.7.10-12 (茨城)
5. 田中征治. Symposium40 Vesicoureteral reflux (VUR) update diagnostic and therapeutic strategy Objectives of Prophylactic Antimicrobial Therapy and Resistant Bacteria 第111回日本泌尿器科 2024.4.25 (横浜)
6. 田中征治. 小児科医の手でほどく夜尿症の悩み 教育セミナー8 第127回日本小児科学会学術集会 2024.4.19 (福岡)
7. 田中征治, 日吉祐介, 新居見真吾, 荒木純一郎, 倉田悟子, 高瀬隆太, 渡邊順子, 西小森隆太, 水落建輝. シュウ酸Ca結石における尿中グリコール酸測定の有用性 第34回日本結石学会 2024.8.31

—研究会・学会地方会—

1. 田中征治. 講演4 難治性夜尿症. 夜尿症診療～エキスパートの果たす役割～. 2024.6.23 (横浜)
2. 田中征治. Landscape of PH in Japan,PH registry PH Expert Exchange Meeting 2024.9.1 (東京)

—学会・研究会—

—国内学会—

1. 江藤美咲, 末継智士, 甲斐蘭七, 山川祐輝, 北城恵史郎, 日吉祐介, 田中征治, 西小森隆太, 山下裕史朗. 透析導入を回避できた溶連菌感染後糸球体腎炎 (PSAGN) の1例. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (福岡)
2. 新居見真吾, 於保貴彦, 田中征治, 日吉祐介, 北城恵史郎, 倉田悟子, 荒木潤一郎, 棚成嘉文, 西小森隆太, 山下裕史朗. 青年期全身性エリテマトーデス (SLE) 患者における新型コロナワクチンの免疫原性と安全性. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (福岡)
3. 大武瑞樹, 木下正啓, 原直子, 緑川浩子, 嶽間澤昌史, 中村美彩, 久保雄太郎, 新居見真吾, 北城恵史郎, 日吉祐介, 田中征治, 水落建輝. 妊娠中のアンジオテンシンII受容体拮抗薬/Ca拮抗薬合剤の内服により羊水過少に至った早産児例. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (福岡)
4. 新居見真吾, 北城恵史郎, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 田中征治, 西小森隆太, 山下裕史朗. 急速に増大したADPKDにトルバプタンを導入した男児の1例. 第59回日本小児腎臓病学会. 2024.6.7-8 (福岡)
5. 中村優也, 津村直弥, 加藤健, 北城恵史郎, 日吉祐介, 田中征治, 西小森隆太, 水落建輝, 山下裕史朗. 慢性骨髄性白血病 (CML) に対するダサチニブ内服によって発症した腎症. 第59回日本小児腎臓病学会. 2024.6.7-8 (福岡)
6. 繁永直樹, 實吉帝奈, 中野薫, 森田真穂, 小嶋亜希, 那須誠, 日吉祐介, 田中征治, 柴田了, 山下裕史朗, 深水圭. 抗リツキシマブ抗体を有する難治性ステロイド依存性ネフローゼ症候群に対し血漿交換療法を施行した一例. 第67回日本腎臓学会. 2024.6.28-30 (横浜)
7. 日吉祐介, 荒木潤一郎, 田中征治, 下川尚子. ウロダイナミクス (UDS) で膀胱機能評価を行った脊髄疾患10例. 第33回日本小児泌尿器科学会 2024.7.10-12 (茨城)
8. 日吉祐介, 新居見真吾, 北城恵史郎, 田中征治. 原発性高シュウ酸尿症 (PH) と鑑別を要したSLC26A1遺伝子異常に伴う尿路結石症. 第33回日本小児泌尿器科学会 2024.7.10-12 (茨城)
9. 日吉祐介, 荒木潤一郎, 新居見真吾, 北城恵史郎, 倉田悟子, 財津亜友子, 田中征治, 水落建輝. 原発性高シュウ酸尿症 (PH) とSLC26A1遺伝子異常に伴う尿路結石の比較. 第45回日本小児腎不全学会学術集会 2024.12.5-12.6 (東京)
10. 新居見真吾, 日吉祐介, 田中征治. CICとビベグロン内服で膀胱コンプライアンスが改善した神経因性膀胱の1例 第21回九州小児泌尿器研究会
11. 新居見真吾, 日吉祐介, 田中征治. 腎機能の変動を認めた完全房室ブロックの1例 第45回日本小児腎不全学会学術集会
12. 新居見真吾, 日吉祐介, 大武瑞樹, 木下正啓, 田中征治. 妊婦へのARB薬中止後に羊水量の改善を認めたARB fetopathyの1例 第26回福岡腎疾患研究会
13. 新居見真吾, 北城恵史郎, 日吉祐介, 倉田悟子, 田中征治. 中心静脈カテーテル感染関連腎炎の1例 第37回九州ネフロロジー研究会

—研究費—

1. 厚生労働行政推進調査事業費 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 「ワクチンの有効性・安全性の疫学的評価と予防接種政策の最適化に資する研究」

神経

—論文—

1. Shimabukuro S, Oshio T, Endo T, Harada S, Yamashita Y, Tomoda A, Guo B, Goto Y, Ishii A, Izumi M, Nakahara Y, Yamamoto K, Daley D, Tripp G. A pragmatic randomised controlled trial of the effectiveness and cost-effectiveness of Well Parent Japan in routine care in Japan: The training and nurturing support for mothers (TRANSFORM) study. *J Child Psychol Psychiatry*. 2024 Dec;65(12):1624-1637.
2. Suzuki Y, Nagamitsu S, Eshima N, Inoue T, Otani R, Sakuta R, Iguchi T, Ishii R, Uchida S, Okada A, Kitayama S, Koyanagi K, Suzuki Y, Sumi Y, Takamiya S, Fujii C, Fukai Y. Body weight and eating attitudes influence improvement of depressive symptoms in children and pre-adolescents with eating disorders: a prospective multicenter cohort study. *BMC Pediatrics*. 2024. doi: 10.1186/s12887-024-05024-2.
3. Hara M, Matsuishi T, Takahashi S, Yamashita Y. Sertraline treatment for paroxysmal nonkinesigenic dyskinesia comorbid with anxiety and depression. *eNeurologicalSci* 2024 doi: 10.1016/j.ensci.2024.100520.
4. Komatsuzaki N, Hashizume N, Sakamoto S, Nakahara H, Tshuruhisa S, Masui D, Koga Y, Higashidate N, Saikusa N, Ishii S, Fukahori S, Yamashita Y, Tanaka Y, Yagi M, Kaji T. The evaluation of gastric emptying using the 13 C-acetate breath test in neurologically impaired patients - A focus on the stomach function and morphology. *KMJ* DOI: 10.2739/kurumemedj.MS6934017. 227-235.
5. Okamura H, Tada Y, Mukasa A, Fujiyoshi T, Yamashita Y. An examination of factors influencing the points gained and lost in the one-week Kurume summer treatment program. *EPCAMH* DOI:10.1080/23794925.2024.2426179. 2024.
6. 山下裕史朗. 神経発達症のある子どもと共に育つ. 久留米医学会雑誌. 2024 ; 87 : 51-56

—著書—

1. 日本小児神経学会監修 チック症ガイドライン策定ワーキンググループ編 小児チック症診療ガイドライン. 東京: 診断と治療社. 2024.2
2. 山下裕史朗監修, 原 宗嗣, 弓削康太郎, 石井隆大, 高橋長秀編集. 日常生活から学ぶ子どもの発達障害と睡眠. 東京: 診断と治療社. 2024.5
3. 特定非営利活動法人ハッピーママくらぶ編 山下裕史朗著. 子どもと共に育つ～神経発達症診療40年～. 久留米: ヌルストリング. 2024.2
4. 石井隆大. 子どもの眠りの評価～問診編. 小児内科 56 巻 8 号. 2024.8
5. 井口敏之, 藤本 保, 田中英高, 竹中義人, 小林穂高, 石井隆大. 「学校との関わり方」アンケート・一次調査結果報告. 子の心とからだ. 2024 ; 33 (1) : 57-61
6. 木村重美, 山下裕史朗. 災害時に人工呼吸器装着児をみんなで守ろうー災害時小児呼吸器地域ネットワークー. 脳と発達. 2024 : 56 : 210-2
7. 田中恭子, 小橋幸介, 込山洋美, 永田雅子, 田中大介, 高橋昭彦, 井上信明, 岡田あゆみ, 石井隆大, 石倉亜矢子, 伊藤友理枝, 植松悟子, 大谷良子, 大平智子, 小倉加恵子, 岸部 峻, 木下あゆみ, 笹岡悠太, 杉立 玲, 杉中見和, 仙田昌義, 田中大介, 松井拓也, 丸山朋子, 尾内一信, 奥山眞紀子, 作田亮一, 竹井寛和, 種部恭子, 高橋義行, 藤井克則. 医療における子ども憲章策定過程における子どもアドボカシー. 日本小児科学会 こどもの生活環境改善委員会報告

ー講演・シンポジウムー

ー国内学会

ー特別講演

ーシンポジウム

1. 石井隆大, 山下裕史朗. 小児チック診療ガイドライン策定までの道のり. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.31 (愛知)
2. 石井隆大. 共に進む: 不登校児童支援におけるICT活用と多職種連携の展望. 第71回日本小児保健協会学術集会. 2024.6.23 (北海道)

ーセミナー

1. 石井隆大. 日本小児科学会主催 第18回思春期医学臨床講習会. 2024.10.13 (福岡) (主幹・幹事)

ー一般演題

1. 山下大輔, 原 宗嗣, 石井隆大, 弓削康太郎, 小池敬義, 藤野武彦, 山下裕史朗. 副腎白質ジストロフィー患児の病状変化とプラズマローゲンの推移に関する検討. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.30 (愛知)
2. 小池敬義, 山下大輔, 吉塚梯子, 石井隆大, 弓削康太郎, 原 宗嗣, 山下裕史朗. 当院における乳児てんかん性スパズム症候群の発達予後と支援状況. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.31 (愛知)
3. 石井隆大, 山下大輔, 後藤康平, 弓削康太郎, 小池敬義, 原 宗嗣, 山下裕史朗. ベランパネル増量により症状緩和がしたLandau Kleffner症候群の1例. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.31 (愛知)
4. 松石豊次郎, 河野 剛, 阪田健祐, 弓削康太郎, 原 宗嗣, 木下正啓, 小池敬義, 高橋知之, 岡村尚昌, 江島伸興, 山下裕史朗. Rett症候群の新規治療法開発に向けた自律神経活動解析による治療効果指標の確立. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.31 (愛知)
5. 松石豊次郎, 磯岡藍子, 阪田健祐, 河野 剛, 弓削康太郎, 原 宗嗣, 寺澤健二郎. タンドスピロンはレット症候群の不随意運動, ジストニアに有効であるか?. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.31 (愛知)
6. 田中裕大, 河野 剛, 泉 清徳, 弓削康太郎, 原 宗嗣, 山下裕史朗, 江島伸興, 久村悠祐, 松石豊次郎. 視線解析装置を用いたRett症候群患者の視覚機能評価に関する検討. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.6.1 (愛知)
7. 山下大輔, 石井隆大, 山下裕史朗. ホスピタルプレイスペシャリストによる摂食障害児への治療協力とその効果に関する検討. 第42回日本小児心身症学会. 2024.9.20 (東京)

ー国際学会

ー研究会・学会地方会

1. 太田光紀, 山下大輔, 弓削康太郎, 石井隆大, 小池敬義, 原 宗嗣, 山下裕史朗. 歩容の異常を認めた2歳2か月の女児. 第96回日本小児神経学会九州地方会. 2024.1.7 (Web)
2. 山下裕史朗. スマートリートメントプログラム: True Story. 筑後地区難聴言語障害等教育連絡協議会. 2024.2.5 (久留米)
3. 安倍等思, 廣畑 優, 山下裕史朗, 田上秀一, 内山雄介, 田中法瑞. ライフイベントに関連する長期観察が行えた脳血管内治療の2例. 第198回日本医学放射線学会九州地方会. 2024.2.16 (熊本)
4. 山下裕史朗. ADHDの包括的治療を求めて. 第524回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.3.2 (特別講演) (福岡)

- 石井隆大, 山下大輔, 大園秀一, 山下裕史朗. 治療経過中に無顆粒球症をきたした摂食障害の11歳女児例. 第19回日本小児心身医学会九州沖縄地方会. 2024.3.10 (長崎)
- 山下裕史朗. 神経発達症治療 これまでとこれから～ADHDを中心に～. 筑後地区発達障害治療講習会. 2024.3.19 (久留米)
- 金堂円太郎, 阪田健祐, 石井隆大, 福井香織, 弓削康太郎, 小池敬義, 原 宗嗣, 水落建輝. 筋緊張低下と重度精神運動発達遅滞を認めた1歳6か月男児例. 第97回日本小児神経学会九州地方会. 2024.8.4 (Web)

—その他—

—講演—

- 小池敬義. 久留米大学病院におけるラコサミドの使用状況. Pediatric Epilepsy Expert Meeting 2024. 2024.2.2 (Web)
- 小池敬義. 思春期のでんかんと支援. 日本てんかん協会福岡県支部. 2024.2.4 (久留米)
- 石井隆大. 久留米のリアル～何が正解なの～. 不登校フォーラム～さあ, みんなで考えよう～. 2024.2.17 (久留米)
- 山下裕史朗. 発達障害で困っている子どもたちへの対応. 第18回久留米大学高次脳疾患研究所 知識と共感の市民公開講座. 2024.2.24 (久留米)
- 小池敬義. 小児科からみた長期継続しやすい抗てんかん薬の選択. 筑後てんかん診療ネットワークセミナー. 2024.2.26 (久留米)
- 小池敬義. てんかん重積状態を防ぐには—ミタゾラム口腔用液(ブコラム[®])の活用—. 第523回福岡地区小児科医会(丹々会)学術講演会. 2024.2.28 (福岡)
- 山下裕史朗. 神経発達症治療 これまでとこれから. 筑後地区発達障害治療講習会. 2024.3.19 (久留米)
- 弓削康太郎. NBSと脊髄性筋萎縮症: 早期治療の重要性と実際. 日本小児科学会学術集会 市民公開講座 新生児と小児の健診と検診. 2024.4.21 (福岡)
- 石井隆大. 小児チック症診療ガイドラインと最新治療の現場から考える小児チック診療. 第6回阪神小児神経疾患研究会. 2024.11.16 (西宮)
- 弓削康太郎. 脊髄性筋萎縮症の診療と最新の治療について. 神経・筋疾患を疑ったら～脊髄性筋萎縮症は治療薬のある疾患です～. 2024.12.23 (Web)

—記念誌, 新聞, テレビ, ラジオ—

- 畑井郁子, 山下大輔, 石井隆大, 山下裕史朗. チーム医療の一員としてのHPS 摂食障害児に必要な「主体的な生き方」とは. ホスピタルプレイ研究事例集 見出せ!それぞれのWell-being. 2024第14号
- 石井隆大. 起立性調節障害. とっても健康ランド KBC (九州朝日放送). 2024.3.30
- 山下裕史朗. 発達障害児支え40年. 西日本新聞. 2024.3.31
- 山下裕史朗. ACE～子ども期の逆境体験の心身への影響～. ハッピーママくらぶ No.84

—研究費・受賞—

- 原 宗嗣. 文部科学研究費 基盤研究(C) (新規)「交感神経細胞の分化転換がレット症候群の脳心連関システム制御異常の原因か?」49万円(代表)

2. 原 宗嗣. 厚生労働科学研究費補助金. (難治性疾患政策研究事業). レット症候群とその周辺疾患の臨床調査研究. 80万円 (分担)
3. 弓削康太郎. 文部科学研究費 基盤研究 (若手) 「レット症候群のグレリン投与による治療メカニズムの解明～睡眠障害を改善できるか～」110万円 (代表)
4. 山下大輔. 森永奉仕会 (新規) 「医療機関を受診する不登校児の背景因子の探索と医学的介入・出口戦略の検討についての研究」45万円 (代表)

新生児

—論文—

1. Sakota Y, Matsumoto T, Yamaguchi M, Kudo A, Nakano K, Maeno Y. Risk factor for COVID-19 cluster infection in hospitalized patients. *Cureus* 16(4): e57957. DOI 10.7759/cureus.57957
2. Fukaya S, Iwata S, Tsuda K, Hirose A, Kinoshita M, Saitoh S, Iwata O. Body Size, Cerebral Blood Flow, Ambient Temperature, and Relative Brain Temperatures in Newborn Infants under Incubator Care. *Biosensors (Basel)* 2024 Vol. 14 Issue 4
Accession Number: 38667202 DOI: 10.3390/bios14040209
3. Higashidate N, Sakamoto S, Saikusa N, Koga Y, Masui D, Nakahara H, Misa Nakamura, Saikusa M, Kinoshita M, Kaji T. Tubular intestinal duplication extending from the stomach to the ileum associated with multiple intestinal atresia and situs inversus: a case report. *Surg Case Rep* 2023 Vol. 9 Issue 1 Pages 141
Accession Number: 37556040 PMCID: PMC10412515 DOI: 10.1186/s40792-023-01728-2

—著書—

1. 廣瀬章子, 前野泰樹. 胎児循環の特殊性 (卵円孔, 動脈管, 静脈管) とその異常はどこまでわかっているか. *周産期医学* 2023年 53巻増刊号 (2024年2月発行) 140-143.
2. 寺町陽三, 前野泰樹. 胎児心疾患の臨床: 胎児診断-胎児心エコーの基本から不整脈診断, 胎児MRIを含めて. 特集 完全把握をめざす小児の心疾患. *小児内科*. 2024; 56: 449-454.
3. 前野泰樹. 胎児, 新生児の不整脈の診断と治療. *周産期医学*. 2024; 54: 959-964.
4. 前野泰樹. 胎児不整脈. *ガイドラインに基づく胎児心エコーテキスト. スクリーニング編 第2版*. 金芳堂. 2024; 12: 1565-78.

—講演・シンポジウム—

—国内学会—

1. 前野泰樹. 教育セミナー: 胎児心臓の心拍数・リズム. やや遅い心拍数, やや速い心拍数, リズムの不整など. 第30回日本胎児心臓病学会学術集会. 2024.2.18 (東京)
2. 海野光昭. 周産期新生児遠隔医療構想の実現に向けて. 病診連携強化に向けた取り組みの紹介. 第2回周産期新生児遠隔研究会. 2024.4.21 (福岡)
3. 海野光昭. 周産期・新生児遠隔医療の未来: 日米でのICTを活用した最新事例に学ぶ. “日本版”周産期新生児遠隔医療構想の実現に向けて～病診連携強化に向けた取り組みの紹介～. 第60回日本周産期・新生児医学会学術集会. 2024.7.13-15 (大阪)
4. 前野泰樹. 不整脈に伴う胎児心不全の評価. 第9回胎児心エコーレベル2講習会. 2024.12.15 (web)

－その他

1. 木下正啓. 成人移行期の課題について. 令和5年度久留米市重症心身障害児者地域生活支援事業. 2024.3.24 (久留米)

－学会・研究会演題

－国内学会

1. 中村美彩, 木下正啓, 久保雄太郎, 嶽間澤昌史, 緑川浩子, 七種 護, 原 直子. 遅発性先天性横隔膜ヘルニアを発症し手術時期の判断に難渋した超低出生体重児. 第60回日本周産期・新生児医学会学術集会. 2024.7.13-15 (大阪)
2. 大津生利衣, 木下正啓, 嶽間澤昌史, 海野光昭, 原田英明, 前野泰樹. 呼吸障害を主訴に搬送された正期産児における長期呼吸管理に至る要因の検討. 第60回日本周産期・新生児医学会学術集会. 2024.7.13-15 (大阪)
3. 原田英明, 海野光昭, 前野泰樹. 正期産・呼吸障害における Oxygen Saturation / FiO2 ratio の有用性. 第60回日本周産期・新生児医学会学術集会. 2024.7.13-15 (大阪)
4. 屋宮清仁, 長井孝太, 宮崎裕之, 鳥 さほ, 三宅 淳, 木下正啓, 後藤憲志. NICUにおける Group B Streptococcus の除菌の必要性. 第98回日本感染症学会学術講演会. 第72回日本化学療法学会総会 合同学会. 2024.6.27-29 (神戸)
5. 下地夏姫, 高田 桃, 崎村弘子, 後藤千津, 木下正啓. 新生児の未熟性に着目したNICU検査パスのバリエーション分析. 第24回日本パス学会 2024.10.4-5 (愛媛)
6. 末継智士, 茂藤優司, 海野光昭, 原田英明, 前野泰樹. 在胎28週以降の新生児呼吸障害において胸腔ドレナージを要する気胸を呈する背景因子. 第68回日本新生児生育医学会. 2024.11.8-10 (松本)
7. 大津生利衣. 呼吸障害により搬送された新生児における搬送依頼のタイミングと呼吸管理期間との関連 単施設後方視的コホート研究. 第77回九州小児科学会 2024.11.16-17 (熊本)

－研究会・地方会

1. 大武瑞樹. 妊娠中のアンジオテンシンII受容体拮抗薬/Ca拮抗薬合剤の内服により羊水過少に至った早産児例. 第525回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.6.8 (福岡)
2. 大武瑞樹, 久保雄太郎, 中村美彩, 嶽間澤昌史, 緑川浩子, 七種 護, 原 直子, 木下正啓, 橋詰直樹, 加治 建. 腸間膜を貫通した空腸を合併した新生児胃破裂の1例. 第81回九州新生児研究会. 2024.9.28 (沖縄)

－研究費・受賞－

1. 前野泰樹. 日本医療研究開発機構 (AMED) 成育疾患克服等総合研究事業 「新生児低酸素性虚血性脳症の早期重症度診断法の開発」 研究開発分担者 令和4年度～令和6年度
2. 海野光昭. 杉浦地域医療振興助成. 研究タイトル: 次世代型遠隔通信機器を用いた地域周産期支援システムの実証試験 ～産科診療所における新生児管理の質向上を目指して～
3. 木下正啓. 日本医療研究開発機構 (AMED) 成育疾患克服等総合研究事業 「新生児低酸素性虚血性脳症の生物マーカーの実用化に向けた臨床研究」 研究開発分担者
4. 木下正啓. 文部科学省研究費 基盤研究 (C) カテーテル先端が視認可能な導光性経鼻栄養カテーテルの開発～誤挿入防止を目指して～
5. 大津生利衣. 呼吸障害により搬送された新生児における搬送依頼のタイミングと呼吸管理期間との関連 単施設後方視的コホート研究. 優秀論文賞. 第77回九州小児科学会 2024.11.16-17 (熊本)

—その他—

1. 木下正啓. 「母乳バンク」小さないのちを救う善意の母乳…「ドナーミルクが当たり前の社会を目指して」
RKB毎日放送 タダイマ 2024年11月12日放送

内分泌

—学会・研究会演題—

—国内学会—

1. 海野聡子, 古橋 京, 木村拓郎, 古賀木綿子, 木下正啓, 西岡淳子. 小児肥満症患児とその家族に及ぼす定期外来受診の影響(アンケート調査結果報告). 第97回日本内分泌学会学術総会. 2024.6.6-8 (横浜)
2. 石本隆浩, 木村拓郎, 古賀木綿子, 海野聡子, 西岡淳子. 若年発症した褐色細胞腫の術前管理にメチロシンを使用した1症例. 第57回日本小児内分泌学会学術集会. 2024.10.10-12 (横浜)

—その他—

1. 西岡淳子. 体重管理に難渋している移行期のプラダーウィリー症候群の1例. 第2回福岡西南エリア小児内分泌研究会. 2024.2.21 (福岡)
2. 海野聡子. 小児のXLH症例. 低リン血症性くる病・骨軟化症 診断と治療in筑後. 2024.4.23 (Web開催)
3. 海野聡子. 学校健診における成長曲線の適正使用について. 大牟田医師会学術講演会. 2024.3.8 (大牟田)
4. 海野聡子. 集団検診から希少疾病を見つける取り組みについて 小児医療に今求められること. JCRファーマ株式会社 社内講演会. 2024.2.14 (Web開催)

—企業治験—

1. Real3: GHD「成長ホルモンによる治療歴がない二次性徴発来前の成長ホルモン分泌不全性低身長症患児を対象として, NNC0195-0092の週1回投与の有効性及び安全性を1日1回投与の成長ホルモン製剤(Norditropin[®] FlexPro[®])と比較検討する, 無作為割り付け, 国際共同, 実薬対照(非盲検), 用量設定(二重盲検), 並行群間比較試験]. 対象疾患: 小児成長ホルモン分泌不全性低身長症. ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
2. Real5: SGA「2歳又はそれ以上の年齢においても成長のcatch-upがみられなかったSmall for Gestational Age性低身長症患児を対象として, somapacitanの週1回投与の有効性及び安全性を1日1回投与のNorditropin[®]と比較検討する用量設定試験]. 対象疾患: SGA性低身長症. ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
3. JR-142の小児成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象とした第II相試験. 対象疾患: 小児成長ホルモン分泌不全性低身長症. JCRファーマ株式会社
4. TS-071の小児2型糖尿病患者を対象とした第III相プラセボ対照二重盲検比較/長期投与試験. 対象疾患: 2型糖尿病. 大正製薬株式会社

感染症

—論文—

1. Tanamachi C, Iwahashi J, Togo A, Ohta K, Miura M, Sakamoto T, Gotoh K, Horita R, Kamei K, and Watanabe H. Molecular analysis for potential hospital-acquired infection caused by *Aspergillus tubingensis* through the environment. *Kurume Med J*. 2024 Jan 16. doi: 10.2739/10.2739/ kurumemedj.MS6934013.
2. 山口璃紗, 三宅 淳, 田代尚崇, 屋宮清仁, 後藤憲志, 大園秀一, 山下裕史朗. 小児科病棟で1か月半の間に発生した *Gordonia* 属菌血症の2症例の検討. *小児感染免疫*. 2024; 36 (3): 271-277.
3. 大島菜那子, 鳥 さほ, 三宅 淳, 田中悠平, 後藤憲志. 敗血症性ショックとなった Panton-Valentine leukocidin 陽性 市中感染型 MRSA による壊死性肺炎の一例. *小児感染免疫*. 2024; 36 (2): 145-151.

—著書—

1. 鳥 さほ, 川口 敦. ICUルーチン (小児). 今日の臨床サポート エルゼビア・ジャパン. 監修: 藤谷茂樹, 安宅一晃. 2024 (電子版)
2. 鳥 さほ, 川口 敦. 小児敗血症診療の進化と未来. 特集: 日本版敗血症診療ガイドライン2024 (J-SSCG2024) のポイントと将来展望. *ICUとCCU* 2024; 48 (12): 717-723.

—シンポジウム・講演—

—国際学会—

1. Gotoh K. A New Era in Environmental Infection Control. The Meeting of the 20th Shanghai International Forum of Infection Control (SIFIC). 2024.7.26-27 (Shanghai, China)
2. Gotoh K. Epidemiology and Current Status of Drug-Resistant Bacterial Infections in Japan. The Meeting of the 20th Shanghai International Forum of Infection Control (SIFIC). 2024.7.26-27 (Shanghai, China)

—国内学会—

1. 多々良一彰, 後藤憲志, 渡邊 浩. シンポジウム1, 基礎研究と実臨床から考える感染症治療, 咽頭炎・扁桃炎の治療戦略—A群 β 溶血性レンサ球菌感染症を中心に—. 第94回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第72回日本化学療法学会西日本支部総会 合同開催. 2024.11.14 (神戸)
2. 後藤憲志. シンポジウム1, コロナ後の渡航者対応は変わってきたか?, 渡航医学のOverview. 第56回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2024.11.16-17 (長崎)

—その他—

1. 後藤憲志. 新しいワクチンのススメ. 北九州小児科医会. 2024.5.16 (北九州)
2. 後藤憲志. 薬剤耐性菌感染症の現状. 薬剤耐性菌セミナー. 2024.6.25 (久留米)
3. 後藤憲志. 日本における薬剤耐性菌感染症の現状. 三井小郡医師会. 2024.7.30 (小郡)
4. 後藤憲志. Post COVID-19における感染対策. 宮崎市学校医講習会. 2024.9.19 (宮崎)
5. 後藤憲志. Post COVID-19における感染対策. 八女筑後医師会. 2024.10.21 (八女)
6. 後藤憲志. 乳児RSウイルスと妊婦ワクチン. 筑後産婦人科勉強会. 2024.10.30 (久留米)
7. 後藤憲志. Global Outbreak and Response Network. (WPRO) 2024.11.20-11.21 (web)
8. 後藤憲志. 新しいワクチンのススメ. 福岡西部小児科懇話会. 2024.12.11 (福岡)

—学会・研究会演題—

—国際学会—

1. Shima S, Kawaguchi A, Nakamura Y, Katsuta T. Clinical features of plastic bronchitis associated with human bocavirus and influenza A(H1N1)pdm09 virus in children. 42nd annual meeting of the European Society for Paediatric Infectious Diseases. 2024.5.20-24 (Copenhagen, Denmark)
2. Shima S, Tanaka T, Kato T, Osada Y, Miyaji M, Miura S, Matsunaga A, Shimizu N, Kawaguchi A. TENSION CHYLOTHORAX WITH CONGENITAL THORACIC DUCT DYSPLASIA: A CASE REPORT. The 12th World Congress of the World Federation of Pediatric Intensive & Critical Care Societies. 2024.6.1-5 (Cancun, Mexico)

—国内学会—

1. 三宅 淳, 北条恵史郎, 屋宮清仁, 後藤憲志, 西小森隆太. NFKB1 遺伝子異常を伴う分類不能型免疫不全症の1例. 第8回免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会. 2024.2.14-15 (京都)
2. 島 さほ, 田中 拓, 加藤匡人, 長田洋資, 宮地麻衣, 三浦慎也, 松永綾子, 清水直樹, 川口 敦. 先天性リンパ管低形成による緊張性乳び胸の一例. 第51回 日本集中治療医学会学術集会. 2024.3.14-16 (札幌)
3. 屋宮清仁, 宮崎裕之, 島 さほ, 三宅 淳, 多々良一彰, 後藤憲志, 山下裕史朗. 当施設におけるBCGリンパ節炎のまとめ. 第127回 日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-21 (福岡)
4. 屋宮清仁, 長井孝太, 宮崎裕之, 島 さほ, 三宅 淳, 木下正啓, 後藤憲志. NICUにおけるGroup B Streptococcusの除菌の必要性. 第98回日本感染症学会学術講演会, 第72回日本化学療法学会総会 合同学会. 2024.6.27-29 (神戸)
5. 三宅 淳, 屋宮清仁, 後藤憲志, 渡邊 浩. 播種性BCG菌感染症を契機に診断に至ったMcLeod症候群合併のX連鎖性慢性肉芽腫症の乳児例 第98回日本感染症学会学術講演会, 第72回日本化学療法学会総会 合同学会. 2024.6.27-29 (神戸)
6. 島 さほ, 川口 敦, 藤谷茂樹. 小児ICUにおける遠隔診療モバイルカートを用いた遠隔診療と教育. 日本集中治療医学会 第8回関東甲信越支部学術集会. 2024.8.24 (東京)
7. 屋宮清仁, 島 さほ, 宮崎裕之, 三宅 淳, 多々良一彰, 後藤憲志. 小児結核診療におけるIGRAの陽性率の検討. 第56回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2024.11.16-17 (長崎)
8. 三宅 淳, 宮崎裕之, 屋宮清仁, 後藤憲志. 小児科病棟において1か月半の間に発生したGordonia属菌血症2症例の分子生物学的検討. 第56回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2024.11.16-17 (長崎)
9. 宮崎裕之, 三宅 淳, 屋宮清仁, 後藤憲志. 過去17年間におけるMRワクチン接種者追跡調査の接種後1ヶ月の健康調査のまとめ. 第56回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2024.11.16-17 (長崎)

—研究会・地方会—

1. 浦元華子, 三宅 淳, 屋宮清仁, 後藤憲志, 水落建輝. 複数菌種が原因と考えられた副鼻腔原性硬膜下膿瘍の1例. 第527回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.12.14 (福岡)

—研究費・受賞—

1. 後藤憲志. 文部科学研究費 基盤(C)「無莢膜型インフルエンザ菌が侵襲性感染症を引き起こす病態に関する研究」451万(令和5年度~7年度)

—特許取得—

1. 田中悠平, 宮田一平, 尾内一信. 「マクロライド系抗生物質耐性変異菌の検出方法」特許第7575101号. 2024年. 日本

小児救急

—講演・シンポジウム—

—研究会・学会地方会

1. 向井純平. 第117回小児診療初期対応コース (JPLS) コースタスク. 2024.02.18 (久留米)
- 向井純平. 第121回小児診療初期対応コース (JPLS) コース講師. 2024.05.12 (佐賀)
- 向井純平. 第148回小児診療初期対応コース (JPLS) コース講師. 2024.09.28 (福岡)

—学会・研究会演題—

—国内学会

1. 向井純平, 東陽三, 木下正啓, 山下裕史朗. 当院の小児在宅人工呼吸器機種別の現状調査. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.04.19-21 (福岡)

—研究会・学会地方会

1. 山川祐輝, 向井純平, 津田恵太郎, 木村拓郎, 島田翔, 前田靖人, 海野聡子, 大園秀一, 須田憲治, 水落建輝. 心筋炎が疑われた褐色細胞腫によるカテコールアミン心筋症の1例. 第23回九州・沖縄小児救急医学研究会. 2024.08.31 (久留米)

小児心身症

—論文—

1. Suzuki Y, Nagamitsu S, Eshima N, Inoue T, Otani R, Sakuta R, Iguchi T, Ishii R, Uchida S, Okada A, Kitayama S, Koyanagi K, Suzuki Y, Sumi Y, Takamiya S, Fujii C, Fukai Y. Body weight and eating attitudes influence improvement of depressive symptoms in children and pre-adolescents with eating disorders: a prospective multicenter cohort study. BMC Pediatrics. 2024. doi: 10.1186/s12887-024-05024-2.

—著書—

1. 日本小児神経学会監修 チック症ガイドライン策定ワーキンググループ編 小児チック症診療ガイドライン. 東京: 診断と治療社. 2024.2
2. 山下裕史朗監修, 原宗嗣, 弓削康太郎, 石井隆大, 高橋長秀編集. 日常生活から学ぶ子どもの発達障害と睡眠. 東京: 診断と治療社. 2024.5
3. 石井隆大. 子どもの眠りの評価～問診編. 小児内科 56 巻 8 号. 2024.8
4. 井口敏之, 藤本保, 田中英高, 竹中義人, 小林穂高, 石井隆大. 「学校との関わり方」アンケート・一次調査結果報告. 子の心とからだ. 2024; 33 (1): 57-61
5. 田中恭子, 小橋幸介, 込山洋美, 永田雅子, 田中大介, 高橋昭彦, 井上信明, 岡田あゆみ, 石井隆大, 石倉亜矢子, 伊藤友理枝, 植松悟子, 大谷良子, 大平智子, 小倉加恵子, 岸部峻, 木下あゆみ, 笹岡悠太, 杉立玲, 杉中見和, 仙田昌義, 田中大介, 松井拓也, 丸山朋子, 尾内一信, 奥山真紀子, 作田亮一, 竹井寛和, 種部恭子, 高橋義行, 藤井克則. 医療における子ども憲章策定過程における子どもアドボカシー. 日本小児科学会 こどもの生活環境改善委員会報告

—講演・シンポジウム—

—国内学会

—特別講演

—シンポジウム

1. 石井隆大, 山下裕史朗. 小児チック診療ガイドライン策定までの道のり. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.31 (愛知)

2. 石井隆大. 共に進む：不登校児童支援における ICT 活用と多職種連携の展望. 第 71 回日本小児保健協会学術集会. 2024.6.23 (北海道)

—セミナー—

1. 石井隆大. 日本小児科学会主催 第 18 回思春期医学臨床講習会. 2024.10.13 (福岡) (主幹・幹事)

—一般演題—

1. 山下大輔, 原 宗嗣, 石井隆大, 弓削康太郎, 小池敬義, 藤野武彦, 山下裕史朗. 副腎白質ジストロフィー患児の病状変化とプラズマローゲンの推移に関する検討. 第 66 回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.30 (愛知)
2. 小池敬義, 山下大輔, 吉塚梯子, 石井隆大, 弓削康太郎, 原 宗嗣, 山下裕史朗. 当院における乳児てんかん性スパズム症候群の発達予後と支援状況. 第 66 回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.31 (愛知)
3. 石井隆大, 山下大輔, 後藤康平, 弓削康太郎, 小池敬義, 原 宗嗣, 山下裕史朗. ペランパネル増量により症状緩和がした Landau Kleffner 症候群の 1 例. 第 66 回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.31 (愛知)
4. 山下大輔, 石井隆大, 山下裕史朗. ホスピタルプレイスペシャリストによる摂食障害児への治療協力とその効果に関する検討. 第 42 回日本小児心身症学会. 2024.9.20 (東京)

—国際学会—

—研究会・学会地方会—

1. 太田光紀, 山下大輔, 弓削康太郎, 石井隆大, 小池敬義, 原 宗嗣, 山下裕史朗. 歩容の異常を認めた 2 歳 2 か月の女兒. 第 96 回日本小児神経学会九州地方会. 2024.1.7 (Web)
2. 石井隆大, 山下大輔, 大園秀一, 山下裕史朗. 治療経過中に無顆粒球症をきたした摂食障害の 11 歳女兒例. 第 19 回日本小児心身医学会九州沖縄地方会. 2024.3.10 (長崎)
3. 金堂円太郎, 阪田健祐, 石井隆大, 福井香織, 弓削康太郎, 小池敬義, 原 宗嗣, 水落建輝. 筋緊張低下と重度精神運動発達遅滞を認めた 1 歳 6 か月男児例. 第 97 回日本小児神経学会九州地方会. 2024.8.4 (Web)

—その他—

—講演—

1. 石井隆大. 久留米のリアル～何が正解なの～. 不登校フォーラム～さあ, みんなで考えよう～. 2024.2.17 (久留米)
2. 石井隆大. 小児チック症診療ガイドラインと最新治療の現場から考える小児チック診療. 第 6 回阪神小児神経疾患研究会. 2024.11.16 (西宮)

—記念誌, 新聞, テレビ, ラジオ—

1. 畑井郁子, 山下大輔, 石井隆大, 山下裕史朗. チーム医療の一員としての HPS 摂食障害児に必要な「主体的な生き方」とは. ホスピタルプレイ研究事例集 見出せ!それぞれの Well-being. 2024 第 14 号
2. 石井隆大. 起立性調節障害. とっても健康ランド KBC (九州朝日放送). 2024.3.30

高次脳疾患研究所

—著書—

1. 高橋知之: 高次脳疾患研究所から基礎と臨床の架け橋を目指して 教授就任講演要旨 久留米医学会雑誌 (8 月号) Vol.87 No.7,8 p231-239 (2024)

—学会・研究会演題—

—国内学会—

1. Rett症候群の新規治療法開発に向けた自律神経活動解析による治療効果指標の確立
松石豊次郎, 河野 剛, 阪田健祐, 弓削康太郎, 原 宗嗣, 木下正啓, 高橋知之, 岡村尚昌, 江島伸興, 山下裕史朗
第66回日本小児神経学会学術集会 2024年5月30日-6月1日 名古屋国際会議場

—講演・研究会—

1. 高橋 知之
高次脳疾患研究所から基礎と臨床の架け橋を目指して
第78回 久留米医学会総会 教授就任講演
2024年4月25日(木) 福岡県久留米市久留米大学筑水会館
2. 高橋 知之
疾患モデルを利用した難治性希少疾患の病態解明と創薬開発
第1回 先端医療技術研究会
2024年1月13日(土) 福岡県久留米市久留米大学医学部基礎3号館
3. 高橋 知之
臨床医と二人三脚で進める希少難治性疾患における創薬研究 - 尿素サイクル欠損症 -
第2回 先端医療技術研究会
2024年5月25日(土) 石川県金沢市WESTビルディング

—研究費・受賞—

1. レット症候群モデルマウスの発達障害特性の解析と創薬標的探索モデルとしての応用(基盤研究C 令和6-9年度:468万円;高橋知之)新規
2. レット症候群のグレリン投与による治療メカニズムの解明
～睡眠障害を改善できるか～(若手研究 令和4-6年度:455万円;弓削康太郎)継続
3. 生体低分子化合物による窒素再生利用を介した高アンモニア血症の新規治療法の開発(基盤研究C 令和3-7年度:429万円;芳野 信)期間延長

関連病院業績

飯塚病院

—著書—

1. 田中祥一朗, 嘉村拓朗, 荒木潤一郎, 齊木玲央, 大矢崇志, 岡松由記. 【小児科学会地方会演題から】筑豊地区における子ども・若者の諸問題～市販薬乱用・オーバードーズを中心に～. 福岡県小児科医報. 2024.11 (62. 67-70)
2. 岡松由記. 医師の働き方改革が契機となった地域医療体制の変化～飯塚市立病院の小児科夜間診療開設の紹介～. 福岡県医報. 2024.12 (1582:7)

—講演・シンポジウム—

—その他—

1. 田中祥一朗. 地域における子ども達の生活環境について. 田川郡社会教育振興協議会. 2024.1.12 (田川郡香春町).
2. 田中祥一朗. 子ども虐待から 家庭・学校・地域を考える. 嘉麻市学校保健会研修会. 2024.1.26 (嘉麻市).
3. 大矢崇志. トラウマインフォームドケア. 福岡子供の家職員研修会. 2024.1.26 (福岡市).
4. 岡松由記. 小児アトピー性皮膚炎の患者と家族への指導について. Moizerto Seminar In 筑豊. 2024.2.15 (飯塚市/オンライン).
5. 田中祥一朗. 社会支援と地域協働. 令和5年度医療従事者向け虐待防止研修 (BEAMS研修 Stage2). 2024.2.24 (福岡市).
6. 八ツ賀秀一. 思春期の心と身体の発育. 子どもの発育セミナー in 筑豊. 2024.2.26 (飯塚市/オンライン).
7. 大矢崇志. “感じる”ってなに?. 令和5年度 筑豊地域小児在宅医療定例研修会 (2月). 2024.2.29 (飯塚市).
8. 田中祥一朗. 子どもの成育環境と地域社会. 飯塚市ファミリー・サポート・センター事業. 2024.3.8 (飯塚市).
9. 大矢崇志. 小児てんかんの特徴と課題. 飯塚医師会学術講演会. 2024.3.18 (オンライン).

大矢崇志. 問題行動を考える～トラウマインフォームドケアの視点から～. 福岡県スクールソーシャルワーカー協会会員向け研修. 2024.3.23 (福岡市).
10. 岡松由記. 食物アレルギー児童の安心安全な学校生活. 立岩小学校 校内研修会. 2024.4.9 (飯塚市).
11. 大矢崇志. 子ども虐待について. 第14回福岡県北部地区在宅重症児者連携会議. 2024.6.4 (糟屋郡久山町).
12. 岡松由記. 食物アレルギー児童の安心・安全な学校生活. 児童クラブ支援員研修会. 2024.7.2 (飯塚市).
13. 大矢崇志. トラウマインフォームドケアの視点から子どもたちの問題を捉えなおす. 子どもを地域で支える会・筑豊. 2024.7.16 (飯塚市).
14. 大矢崇志. 小児てんかんの特徴と課題. Neurology Meeting～地域でてんかん診療を考える会～. 2024.7.22 (オンライン).
15. 田中祥一朗. 生きづらさを抱える子ども・若者への社会的処方～市販薬乱用を中心に～. 令和6年度福岡県女性支援団体ネットワーク会員向け研修会. 2024.8.19 (春日市).

16. 田中祥一郎. 地域で育む子どもたちの未来～子どものウェルビーイングから考える～. 令和6年度国公立私立幼稚園長・職員人権教育研修会. 2024.8.23 (福岡市/オンライン).
17. 田中祥一郎. 子どもの成育環境と地域社会. 飯塚市ファミリー・サポート・センター事業. 2024.9.19 (飯塚市).
18. 大矢崇志. 発達特性とアタッチメント(愛着障害と発達性トラウマ障害). 飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク こども部会 ネットワーク班 研修会. 2024.10.3 (飯塚市).
19. 田中祥一郎. つながるチカラ～虐待防止ネットワークが未来を変える～. 第6回にこりと学ぼう. 2024.10.22 (オンライン).
20. 嘉村拓朗. アレルギーの予防とそのポイント. 大牟田市アレルギー教室. 2024.10.30 (大牟田市).
21. 田中祥一郎. 模擬事例検討会(ワークショップ). 令和6年度医療従事者向け虐待防止研修(BEAMS研修Stage2). 2024.11.9 (福岡市).
22. 岡松由記. 災害時の対応とアレルギー除去食品の紹介. 第9回ふくおか食物アレルギー攻略法講座. 2024.11.10 (福岡市).
23. 田中ゆかり. 19歳まで一般小児科医にてフォローされていたFGF関連低リン血症性くる病の男性例. 第329回福岡県病院薬剤師会筑豊支部学術研修会. 2024.11.27 (オンライン).
24. 大矢崇志. てんかん発作がある子どもの理解と対応について. 令和6年度校内医療的ケア研修会. 2024.12.4 (嘉麻市).
25. 嘉村拓朗. 食物アレルギー児と安心安全な学校生活. 壱岐市アレルギー講習会. 2024.12.8 (壱岐市).
26. 田中祥一郎. 子どもの成育環境と地域社会. 飯塚市ファミリー・サポート・センター事業. 2024.12.13 (飯塚市).
27. 田中祥一郎. 模擬事例検討会(ワークショップ). 令和6年度医療従事者向け虐待防止研修(BEAMS研修Stage2 + α). 2024.12.22 (山口市).

—学会・研究会演題—

—国内学会

1. 岡松由記, 山下哲矢, 大矢崇志, 園田知子, 田中祥一郎. 小児一般外来で初期診療をした発達障害疑い患者の転帰に関わる予後因子の検討. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4.19-2024.4.21 (福岡市).
2. 田中祥一郎, 山野淳子, 大淵孝一, 齊木玲央, 大矢崇志, 岡松由記. 児童虐待防止拠点病院と15市町村の協働による広域ネットワークの取組み. 第15回日本子ども虐待医学会学術集会. 2024.8.31-2024.9.1 (前橋市).
3. 笹栗 誠, 大矢崇志, 岡松由記. 当院で在宅人工呼吸器管理している患者の報告. 第56回日本小児呼吸器学会. 2024.9.20-2024.9.21 (浦安市/オンライン).
4. 時津晴美, 小田菜摘, 浦野夏希, 平塚あい, 重久優子, 笹栗智子, 山野淳子, 登山万佐子, 齊木玲央. 行政と協働したA病院のNICU(低出生体重児)乳幼児健診の実施報告～専門性を活かした健診スタイル～. 第30回日本子ども虐待防止学会学術集会所かがわ大会. 2024.11.30-2024.12.1 (高松市).

—研究会・学会地方会

1. 嘉村拓朗, 大谷 昂, 岡松由記. 消化管アレルギーにより一過性に胃容量低下を認めた乳児例. 第6回日本アレルギー学会九州沖縄支部地方会. 2024.2.17 (福岡市).

2. 田中祥一郎, 嘉村拓朗, 荒木潤一郎, 齊木玲央, 大矢崇志, 岡松由記. 筑豊地区における子ども・若者の諸問題～市販薬乱用・オーバードーズを中心に～. 第524回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.3.2 (福岡市/オンライン).
3. 齊木玲央. サイトメガロウイルス感染症. 第50回筑豊周産期懇話会. 2024.5.15 (飯塚市).
4. 田中祥一郎, 齊木玲央, 嘉村拓朗, 荒木潤一郎, 大矢崇志, 神田 洋, 岡松由記, 小窪啓之, 馬場晴久. 筑豊地域の市町村ネットワークの取組み～医療機関と要保護児童対策地域協議会との連携～. 第525回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.6.8 (福岡市/オンライン).
5. 笹栗 誠, 二宮辰光, 荒木潤一郎, 岡松由記. COVID-19に関連する血液凝固異常を伴った1歳1か月の1例. 第525回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.6.8 (福岡市/オンライン).
6. 田中祥一郎. 舌下免疫療法に活かす動機づけテクニック～こどもの意向を尊重した意思決定支援～. 第359回筑豊小児科医会勉強会. 2024.9.12 (飯塚市/オンライン).
7. 岡松由記. NO MORE アトピー性皮膚炎 デュピルマブへの期待. 第235回筑後小児科医会セミナー. 2024.11.28 (久留米市/オンライン).
8. 吉田浩一, 松行圭吾, 荒木潤一郎, 岡松由記, 神田 洋. 一過性の上下肢麻痺を認めた14歳女性の報告. 第527回日本小児科学会福岡地方会例会. 2024.12.14 (福岡市).

ーその他

1. 大矢崇志. トラウマへの周囲の関わり方. 第7回トラウマインフォームドケア (TIC) 連続講座. 2024.1.12 (飯塚市).
2. 大矢崇志. グリーフとトラウマ. 第8回トラウマインフォームドケア (TIC) 連続講座. 2024.1.19 (飯塚市).
3. 大矢崇志. TICとは?. 第1回TIコーディネーター養成講座. 2024.2.2 (飯塚市).
4. 大矢崇志. トラウマインフォームドアプローチの原則. 第2回TIコーディネーター養成講座. 2024.2.9 (飯塚市).
5. 大矢崇志. TICを支えるコーディネート. 第3回TIコーディネーター養成講座. 2024.2.16 (飯塚市).
6. 大矢崇志. トラウマ: 支援者への影響. 第4回TIコーディネーター養成講座. 2024.3.1 (飯塚市).
7. 大矢崇志. 組織にTICを取り入れる. 第5回TIコーディネーター養成講座. 2024.3.8 (飯塚市).
8. 大矢崇志. トラウマケアを知る. 第6回TIコーディネーター養成講座. 2024.3.15 (飯塚市).

ーその他メディア掲載

1. 田中祥一郎. 身近に相談できる大人を「まちの保健室」若者が集まる福岡市の警固公園で. RKB「タダイマ!」. 2024.9.17
2. 田中祥一郎. ルポ警固(けご)公園～私の声を聴いてほしい～. NHK「ザ・ライフ」. 2024.10.25
3. 田中祥一郎. 「警固界限」の自傷行為、オーバードーズ... 子どもたちの生きづらさにどう向き合えば 福岡・飯塚市で理解深める研修会. 西日本新聞. 2024.10.31
4. 田中祥一郎. 「警固界限」福岡市・警固公園に集まる若者の「保健室」... 大学教員や医師ら月1回開設「安心できる場所を」. 読売新聞. 2024.12.24

社会保険田川病院

—講演・シンポジウム—

1. 酒井さやか. 子宮頸がん予防とHPVワクチンについて 2024.8.26 田川地区薬剤師研修会 (田川市)

聖マリア病院 (小児科)

—論文—

1. Miyake N, Tsurusaki Y, Fukai R, -- Matsuishi T, -- Matsumoto N. Molecular diagnosis of 405 individuals with autism spectrum disorder. *Eur J Hum Genet.* 2024;32(12):1551-1558. doi: 10.1038/s41431-023-01335-7.
2. Matsuishi T, Kawano G, Sakuma H, Russell D : Infection-triggered encephalopathy syndromes as emerging pediatric neuroinflammatory diseases. *Front Neurosci.* 2024.
3. Hiroshi Sakuma, Terrence Thomas, Carly Debinski, Michael Eyre, Velda X Han, Hannah F Jones, Go Kawano, Vanessa W Lee, Stephen Malone, Toyojiro Matsuishi, Shekeeb S Mohammad, Takayuki Mori, Hiroya Nishida, Margherita Nosadini, Jun-Ichi Takanashi, Masashi Mizuguchi, Ming Lim, Russell C Dale. International consensus definitions for infection-triggered encephalopathy syndromes. *Dev Med Child Neurol.* 2025;67(2):195-207. doi: 10.1111/dmcn.16067. Epub 2024 Aug 14.
4. Hara M, Matsuishi T, Takahashi S, Yamashita Y. Sertraline treatment for paroxysmal nonkinesigenic dyskinesia comorbid with anxiety and depression *Neurological Sci.* 2024;31:36:100520.

—著書—

1. 松石豊次郎, 河野 剛. レット症候群. てんかん症候群 診断と治療の手引き 第8章 遺伝子/染色体以上によるてんかん症候群. 日本てんかん学会. 東京:メディカルビュー社. 2023 ; 251-255.
2. 松石豊次郎, 河野 剛. 23レット症候群. てんかんの難病ガイド 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業「希少てんかんに関する包括的研究」班. 日興美術 2023 ; 50-51.

—講演・シンポジウム—

1. 横地賢興. 市民公開講座 食物アレルギーの正しい対策 2024.11.13 (大牟田市)

—学会—

1. 田中 良, 宮城裕典. 突然、両上下肢の浮腫を認め遺伝性血管性浮腫と診断した9歳男児. 第293回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.3.21 (久留米)
2. 藤岡ゆい, 大津生利衣. 学校給食でうずらの卵による窒息例7歳男児. 第293回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.3.21 (久留米)
3. 富田正章, 茂藤優司. 過量服薬あり救急搬送された13歳女児. 第293回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.3.21 (久留米)
4. 高木健太郎. 硬膜下血腫に伴う bright tree appearance を認めた2か月女児. 第293回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.3.21 (久留米)
5. 松石豊次郎, 河野 剛, 阪田健介, 弓削康太郎, 原 宗嗣, 木下正啓, 小池敬義, 高橋知之, 岡村尚昌, 江島伸興, 山下裕史朗. Rett症候群の新規治療法開発に向けた自律神経活動解析による治療効果指標の確立. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.30 (名古屋)
6. 松石豊次郎, 磯岡藍子, 阪田健介, 河野 剛, 弓削康太郎, 原 宗嗣, 寺澤健二郎. タンドスピロンはレット症候群の不随意運動, ジストニアに有効である. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.30 (名古屋)

7. 河野 剛, 阪田健祐, 松石豊次郎. 二相性脳症における Remote ischaemic Postconditioning の脳低温療法に対する追加治療の安全性、効果の検討. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.30 (名古屋)
8. 田中裕大, 河野 剛, 泉 清徳, 弓削康太郎, 原 宗嗣, 山下裕史朗, 江島伸興, 久村悠祐, 松石豊次郎. 視線解析装置を用いた Rett 症候群患者の視覚機能評価に関する検討. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.30 (名古屋)
9. 阪田健祐, 河野 剛, 松石豊次郎. 当院で頭蓋内出血に伴って MRI 検査で bright tree appearance を認めた5症例. 第66回日本小児神経学会学術集会. 2024.5.30 (名古屋)
10. 高木健太郎, 佐藤美晴. 川崎病に伴い急性虫垂炎所見を認めた4歳男児. 第294回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.6.27 (久留米)
11. 吉村 夢, 甲斐蘭七. 急性巣状細菌性腎炎で当院紹介になり腎膿瘍への進行を認めた4歳女児. 第294回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.6.27 (久留米)
12. 大川真弥, 山口璃紗. 消化器症状を認め 当院を受診し劇症型心筋炎と診断した10歳男児. 第294回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.6.27 (久留米)
13. 大原健太郎, 山木勇人. 急性壊死性脳症を認めた3歳女児. 第294回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.6.27 (久留米)
14. 吉田賢弘, 喜多村美幸, 松下美由紀, 横地賢興, 河野 剛, 秋田幸大. 化膿性閉鎖筋炎の2例. 第37回日本小児救急医学会学術集会. 2024.7.27 (東京)
15. 松下美由紀, 横地賢興, 河野 剛, 秋田幸大. 当院における小児の薬物過剰摂取症例の実状と動向. 第37回日本小児救急医学会学術集会. 2024.7.27 (東京)
16. 山木勇人. 当院でのてんかんが原因と考えられた自宅浴槽での溺水例. 第23回九州・沖縄小児救急医学研究会. 2024.8.31 (久留米)
17. 佐藤美晴, 坂口廣高, 松下美由紀, 吉田賢弘, 横地賢興, 松石豊次郎, 河野 剛, 秋田幸大, 朴 鐘明, 寺田貴武. 第37回日本小児救急医学会学術集会. 2024.7.27 (東京)
18. 西田大輝, 高木健太郎. マイコプラズマ肺炎入院加療中に数時間にわたりけいれん群発、重積を認めた4歳女児. 第295回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.10.24 (久留米)
19. 石和望愛, 山口璃紗. マイコプラズマ感染に伴い Stevens Johnson 症候群を認めた10歳男児. 第295回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.10.24 (久留米)
20. 池田龍平, 山木勇人. 発熱、下腹部痛を認め OHVIRA 症候群 (片腎欠損、重複子宮) と診断した12歳女児. 第295回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.10.24 (久留米)
21. 森山朔太郎, 佐藤美晴. 整形外科で股関節脱臼を疑われていたが、血友病と診断した7か月男児. 第295回 PRIMARY CARE CONFERENCE. 2024.10.24 (久留米)

—研究費・受賞—

1. 松石豊次郎: MECP2 重複症候群及び FOXG1 症候群, CDKL5 症候群の臨床調査研究. 厚生労働科学研究費補助金. 難治性疾患政策研究事業. (研究代表者 伊藤雅之) 50万円 (分担)
2. 松石豊次郎: レット症候群とその周辺疾患の臨床調査研究. 厚生労働科学研究費補助金. 難治性疾患政策研究事業. (研究代表者 伊藤雅之) 50万円 (分担)

こぐま学園診療所

ーその他ー

1. 金子美香. 療育施設におけるデュシェンヌ型筋ジストロフィーの管理の現状と課題. DMD Area Meeting in 北部九州. 2024.2.3 (福岡)

同門業績

橋本武夫 (昭和 42 年入局 鳥栖市)

—特別講演・シンポジウム・パネル・学会—

—講演—

1. 橋本武夫. 教育講演. 新生児から療育にわたる多職種連携ケアへの実践. 第 10 回日本小児多職種研究会. 2024.2.10 (東京都ステーションコンファレンス東京)
2. 橋本武夫. 特別講演. NICU からの在宅移行支援～児童発達支援センターとの関連も含めて～. 第 2 回北九州新生児セミナー. 2024.2.16 (リーガロイヤルホテル小倉)
3. 橋本武夫. Clinical pearl シリーズ. 非教科書的トピック症例から～陰唇癒合～. 第 80 回九州新生児研究会. 2024.5.25 (別府市コンベンションプラザ)
4. 橋本武夫. 指定演題. 児童発達支援センターでの挑戦～発達障害もどきへの多職種ケアの効果～. 第 51 回ハイリスク児フォローアップ研究会. 2024.6.2 (アクトシティ浜松研修交流センター)
5. 橋本武夫. 特別講演. 児童発達支援センターから NICU への Feed back～発達支援と多職種ケアへの提言～. 令和 6 年度新生児医療連絡会第 1 回総会. 2024.7.14 (大阪国際会議場)
6. 橋本武夫. 教育講演. 胎児・新生児期からの愛着形成～神からの驚きの授かりもの～. 第 62 回日本カトリック幼保連盟教職員研修大会. 2024.7.31 (ホテル日航大分オアシス)
7. 橋本武夫. Clinical pearl シリーズ. なぜ おっぱい診ないの?～母乳育児とおっぱいケアの重要性～. 第 81 回九州新生児研究会. 2024.9.28 (ホテルコレクティブ那覇)
8. 橋本武夫. 特別講演. Loving Hug. 日本乳幼児精神保健学会第 4 回学術集会. 2024.10.13 (浜松福祉交流センター)
9. 橋本武夫. 指定発言. 学術スライドの作り方. 第 68 回日本新生児成育医学会ワークショップ. 2024.11.10 (松本市、ホテルヴェノビータ)

—講演会—

1. 橋本武夫. 正しいスキンケアとその必要性. 味坂保育園育児研修会. 2024.1.18 (小郡市味坂保育園)
2. 橋本武夫. スキンケアの実践. 筑紫保育園子育て支援センター育児講演. 2024.1.27 (筑紫保育園)
3. 橋本武夫. 親と子の共育ち. 遊学舎芳華こども園講演会. 2024.2.3 (武雄市芳華こども園)
4. 橋本武夫. 親子が触れ合うことの大切さ～子育て支援者向けタッチケア～. 鳥栖市子育て支援関連機関研修会. 2024.4.8 (鳥栖市役所)
5. 橋本武夫. Loving Hug～ Hug は百薬の長なり～. 一般社団法人ママズケア講演会. 2024.2.12 (名古屋市メゾンフカモト)
6. 橋本武夫. スキンケアとスキンキュア. 渡辺レディースクリニック研修会. 2024.3.5 (久留米市渡辺レディースクリニック)
7. 橋本武夫. タッチケアと子育て. 味坂保育園未就園児保護者向けママサロン. 2024.3.7 (小郡市あすてらす)

8. 橋本武夫. 子供の育ちと子育ての中で大切にしたいもの. たちばなこども園子育て後援会. 2024.3.9 (嬉野市 たちばなこども園)
9. 橋本武夫. スキンケア. 一般社団法人ママズケア講演会. 2024.3.13 (西宮市阪急デパート)
10. 橋本武夫. 母乳育児ケアと支援の再考. 一般社団法人ママズケア講演会. 2024.5.12 (福岡市アクロス福岡)
11. 橋本武夫. タッチケアとその実践. 緑生館看護学校特別講義. 2024.5.21 (鳥栖市緑生館看護学校)
12. 橋本武夫. 改めて子育ての原点を～愛着とキャッチボールの重要性～. 佐賀県療育支援センター研修事業. 2024.5.31 (佐賀市、佐賀県療育支援センター)
13. 橋本武夫. 子供のアレルギーとスキンケア. 愛和病院子育て応援後援会. 2024.6.5 (古賀市、愛和病院)
14. 橋本武夫. 助産師としての育児支援の基本. 聖マリア学院大学助産科特別講義. 2024.6.13 (久留米市、聖マリア学院大学)
15. 橋本武夫. タッチケアの広まりとその成果. 第48回日本タッチケア指導者認定講習会. 2024.6.22 (広島市、広島県医師会館)
16. 橋本武夫. おすすめスキンケア～アレルギーとタッチケアから～. 第48回日本タッチケア指導者認定講習会. 2024.6.23 (広島市、広島県医師会館)
17. 橋本武夫. スキンケアとアレルギーについて. レインボウ・虹の子・あいりす保育園3園職員合同研修会. 2024.7.5 (鳥栖市、弥生が丘街づくり推進センター)
18. 橋本武夫. 愛着形成の根幹. モンテッソーリ教育コース研修. 2024.8.27 (広島市、小百合学園教育本部)
19. 橋本武夫. タッチケアとは?実技を含めて. モンテッソーリ教育コース研修. 2024.8.27 (広島市、小百合学園教育本部)
20. 橋本武夫. 親子の共育ちを願って. ちくし・子育て支援センター育児講座. 2024.8.31 (太宰府市、ちくし・子育て支援センター)
21. 橋本 武夫. 最近の子育て考. みやき町民生委員・児童福祉部会. 2024.9.6 (若楠療育医療センター)
22. 橋本武夫. 母乳育児の問題点と対応～これだけは理解しよう～. 一般社団法人ママズケア講演会. 2024.9.22 (東京都、品川きゅりあん)
23. 橋本武夫. おすすめスキンケア～アレルギーとタッチケアから～. 第49回日本タッチケア指導者認定講習会. 2024.9.23 (東京都、日赤看護大学)
24. 橋本武夫. 母乳育児支援～問題点と対応～. 一般社団法人ママズケア講演会. 2024.10.20 (熊本市福祉会館)
25. 橋本武夫. 看護の心の原点. 純真学園大学看護科特別講義. 2024.11.26 (純真学園大学)

—論文—

—その他—

1. 橋本武夫. もらい乳が救った少女～母親の挑戦に学ぶ～ (前編). With NEO 2024.37.4 107～109
2. 橋本武夫. もらい乳が救った少女～母親の挑戦に学ぶ～ (後編). With NEO 2024.37.5 134～137

松浦伸郎 (昭和 54 年入局 姫路市)

—学会—

1. 松浦伸郎 兵庫県内各自治体における学校心臓検診・腎臓検診システムの検討 第 72 回近畿医師会連合学校医研究協議会総会 2024 年 2 月 18 日 大津
2. 福永雅文 後藤佳代子 松浦伸郎 終末期がん患者の在宅困難事例において多職種連携を通じて長期間在宅フォローした事例 第 15 回日本プライマリケア学会 (浜松) 2024.6.8
3. 後藤佳代子 松浦伸郎 前田晃宏 福永雅文 松村 正 あなたの想いを紡いでいく ～多職種連携を通して～ 第 6 回日本在宅医療連合学会 (千葉幕張) 2024.7.20
4. 橋本裕美 松浦伸郎 川島 崇 少子化時代の小児科クリニックについて話し合いませんか (いなか小児科 WS) 第 33 回日本外来小児科学会 2024 年 9 月 8 日

—報告—

1. 松浦伸郎 第 55 回若年者心疾患生活習慣病対策協議会に参加して 兵庫県医師会報 5 月 6-7 2024
2. 松浦伸郎 第 55 回若年者心疾患生活習慣病対策協議会に参加して 姫路市医師会報 5.21-22 2024
3. 松浦伸郎 私のコロナ診療雑感 姫路市医師会の新型コロナウイルス感染症 (COVID19) 取り組み報告書 姫路市医師会報告 32 2024
4. 松浦伸郎 兵庫県内各自治体における学校心臓検診・腎臓検診システムの検討 第 72 回近畿医師会連合学校医研究協議会総会報告書 40-44 2024 5 月
5. 松浦伸郎 Dr's プライムアカデミア 学校保健で広げる健康の輪 (前半) 10 月 22 日 (前半) 2024 学校保健ここを見よう (後半) 11 月 1 日 (後半) 2024 Dr's Prime Academia (全国ネット配信による勉強会)

津村直幹 (昭和 61 年入局 久留米市)

—総説—

1. 津村直幹. 話題のワクチンと、新たに導入されたワクチン ～効果や副反応、そして間違い接種防止対策～. 八女筑後医報 令和 6 年 6 月号 No.422 p13-32
2. 津村直幹. 話題のワクチンと、新たに導入されたワクチン ～PCV15 の導入と、HPV ワクチンの小学 6 年生から勧める意義を中心に～. 佐賀県小児科医報 令和 6 年 11 月 第 51 号 p23-34

—講演会・セミナー—

1. 津村直幹. インフルエンザと COVID-19 の予防・治療戦略. 北海道小児感染症セミナー. 2024.1.24 (web)
2. 津村直幹. インフルエンザと COVID-19 の予防・治療戦略. 第 212 回宗像小児科医会講演会. 2024.1.25 (宗像/web)
3. 津村直幹. 最近話題のワクチンと、新たに導入されるワクチン ～効果や副反応、そして間違い接種防止対策～. 令和 5 年度上天草市予防接種研修会. 2024.2.22 (上天草)
4. 津村直幹. 最近話題のワクチンと、新たに導入されるワクチン ～効果や副反応、そして間違い接種防止対策～. 令和 5 年度久留米医師会予防接種講習会. 2024.3.14 (久留米)

5. 津村直幹. 小学6年生から勧めてみませんか、HPV ワクチン ～接種率を上げるために、私たちかかりつけ医ができること～. 2024.4.11 (市原/web)
6. 津村直幹. 最近話題のワクチンと、新たに導入されたワクチン ～PCV15の導入と、HPV ワクチンの小学6年生から勧める意義を中心に～. 第356回 筑豊小児科医会勉強会. 2024.4.25 (飯塚/web)
7. 津村直幹. HPV ワクチン 小学6年生から勧める意義 ～勧奨再開後の年齢別接種率を見て思うこと～. HPV Online セミナー. 2024.5.9 (m3.com/web)
8. 津村直幹. 最近話題のワクチンと、新たに導入されたワクチン ～PCV15の導入と、HPV ワクチンの小学6年生から勧める意義を中心に～. 佐賀県小児科医会学術講演会. 2024.5.16 (佐賀)
9. 津村直幹. 最近話題のワクチンと、新たに導入されたワクチン ～効果や副反応、そして間違い接種防止対策～. 八女筑後医師会予防接種研修会. 2024.5.30 (八女)
10. 津村直幹. 最近話題のワクチンと、新たに導入されたワクチン ～PCV15の導入と、HPV ワクチンの小学6年生から勧める意義を中心に～. 大牟田医師会学術講演会. 2024.6.6 (大牟田)
11. 津村直幹. HPV ワクチンの現状と課題 ～小学6年生から接種する意義～. 天草小児医療研究会. 2024.7.25 (天草)
12. 津村直幹. 乳幼児期に必要なワクチンのスケジュール. 第12回プレママとプレパパの子育て・ワクチンセミナー. 2024.7.27 (福岡/web)
13. 津村直幹. 予防接種に関する最新情報 ～新しく導入されたワクチンと最近話題のワクチン～. 令和6年度朝倉保健協議会研修会. 2024.8.1 (朝倉)
14. 津村直幹. 新しく導入されたワクチンと最近話題のワクチン. 保育所・幼稚園等における感染症予防研修会. 2024.8.8 (久留米)
15. 津村直幹. COVID-19のワクチン予防戦略 ～これからのワクチン接種の意義を考える～. COVID-19セミナー in 久留米. 2024.9.5 (web)
16. 津村直幹. 最近話題のワクチンと、新たに導入されたワクチン ～PCV15の導入と、HPV ワクチンの小学6年生から接種する意義を中心に～. 熊本ワクチンセミナー. 2024.9.10 (web)
17. 津村直幹. 予防接種最新情報 ～子どもにも大人にも必要なワクチン、そして間違い接種防止対策～. 令和6年度小郡三井医師会予防接種講習会. 2024.9.12 (小郡)
18. 津村直幹. HPV ワクチンの現状と課題. やまぐち HPV ワクチン Web 講演会. 2024.10.3 (web)
19. 津村直幹. ランチョンセミナー. HPV ワクチン 小学6年生から接種する意義 ～勧奨再開後の年齢別接種率を見て思うこと～. 第20回日本小児科医会生涯研修セミナー in 徳島. 2024.10.13 (徳島)
20. 津村直幹. HPV ワクチンの現状と課題 ～小学6年生から接種する意義～. HPV ワクチンセミナー for Pediatrics. 2024.10.29 (島根/web)
21. 津村直幹. 0歳児での肺炎球菌ワクチン接種の重要性. 肺炎球菌ワクチン「バクニユバンス®」Web講演会. 2024.10.31 (m3.com/web)
22. 津村直幹. 予防接種最新情報 ～子どもにも大人にも必要なワクチン～. 令和6年度久留米医師会予防接種講習会. 2024.12.12 (久留米)

中村秀文 (昭和 62 年入局 東京都)

—論文—

1. Shoji K, Hikino K, Saito J, Matsui T, Utano T, Takebayashi A, Tomizawa D, Kato M, Matsumoto K, Ishikawa T, Kawai T, Nakamura H, Miyairi I, Terao C, Mushiroda T. Pharmacogenetic implementation for CYP2C19 and pharmacokinetics of voriconazole in children with malignancy or inborn errors of immunity. *J Infect Chemother.* 2024;30(12):1280-1288.
2. Saito J, Nakamura H, Akabane M, Yamatani A.: Quantitative Investigation on Exposure to Potentially Harmful Excipients by Injection Drug Administration in Children Under 2 Years of Age and Analysis of Association with Adverse Events: A Single-Center, Retrospective Observational Study. *Ther Innov Regul Sci.* 2024;58(2):316-335.
3. 宮前由里恵, 菊地佳代子, 金子麻衣, 宮長麻里子, 中村秀文: 小児を対象とした医師主導治験の問題点と解決策について. *臨床薬理* 2024; 55 (1): 21-24

—著書・総説—

1. Degraeuwe E, Nakamura H, Walle J, Kearns G: The needs, challenges, and opportunities from the academic researchers' perspective. *Essentials of translational pediatric drug development. From pat needs to future opportunities.* Eds Gasthuys E, Allegaert K, Dossche L, Turner M. Elsevier, 2024; 93-126. <https://doi.org/10.1016/B978-0-323-88459-4.00006-7>
2. 中村秀文: 希少疾病における臨床試験・治療開発の留意点. *日本小児科学会雑誌* 2024; 128: 435-442
3. 中村秀文: 小児における薬物の使い方. 総編集 加藤元博, *小児科診断・治療指針 改訂第3版*, 中山書店, 2024; 1167-1171.

—研究費—

1. 厚生労働行政推進調査事業費補助金「小児がんおよび小児希少難治性疾患の医薬品の早期実用化を目指した新たな審査基準提言のための研究」(令和5-令和7年度: 研究代表者)
2. 日本医療研究開発機構 医薬品等規制調和・評価研究事業「小児医薬品等の早期実用化と国際連携に資するレギュラトリーサイエンス研究」(令和4-6年度: 研究代表者)

杉村 徹 (昭和 63 年入局 筑後市)

—業績—

学会, セミナー関連

1. 杉村 徹, 寺崎乃美, 力武典子, 他. 小児アトピー性皮膚炎におけるジファミラスト軟膏の使用経験. 第127回日本小児科学会学術集会(福岡) 2024年4月20(土)

牟田広美 (平成 9 年入局 久留米市)

—論文—

1. 牟田広美, 井上佳也, 友政 剛. モビコール[®]の溶解飲料の実態調査. *外来小児科* 2024; 27 (1): 51-6.
2. 牟田広美, 杉村 徹, 青木才一志, 田川正人, 平松裕之, 鈴木竜太, 他. 5価ロタウイルスワクチン(ロタテック[®])接種直後の吐き出しによる便中ワクチン株排泄への影響. *外来小児科* (印刷中)

— 依頼原稿 —

3. 野田 隆, 牟田広実. 喫煙防止教育から禁煙教育へ. 小児内科 2024;56 (3) :351-4.

— 著書 —

なし

— 講演・シンポジウム —

1. 牟田広実. シンポジウム「無煙世代を創りだそう」小児科における取り組み. 第19回日本禁煙科学会学術総会 in 福岡. 2024.11 (福岡)

— 学会・研究会演題 —

— 国内学会 —

1. 牟田広実, 長田伸夫, 峯 真人, 久保田恵巳. Multiplex PCR法によるプライマリケアにおける生後3か月未満児の急性呼吸器感染症の病原体調査. 第127回日本小児科学会学術集会. 2024.4 (福岡)
2. 牟田広実, 長田伸夫, 峯 真人, 久保田恵巳. Multiplex PCR法によるプライマリケアにおける生後3か月未満児の急性呼吸器感染症の病原体調査. 第33回日本外来小児科学会年次集会. 2024.9 (高山)
3. 幸道直樹, 幸道和樹, 井上徳浩, 富本和彦, 牟田広実, 絹巻 宏, 他. 卵黄による食物蛋白誘発胃腸炎Food protein-induced enterocolitis syndrome (FPIES) は小児科医にどこまで認知されているか? 第33回日本外来小児科学会年次集会. 2024.9 (高山)
4. 牟田広実, 野田 隆. 3歳児健診受診者における尿中コチニンを用いた受動喫煙の実態調査. 第19回日本禁煙科学会学術総会 in 福岡. 2024.11 (福岡)

— その他 —

— 受賞 —

日本禁煙科学会 禁煙教育推進賞